

足立区学習教材

次へのステップ

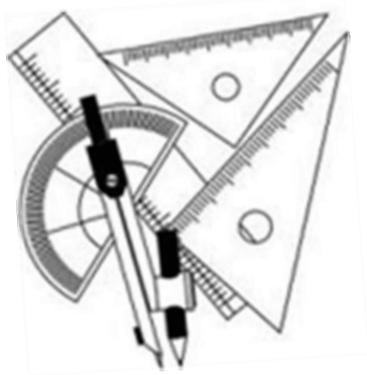
小学校 算数



4年生の内容



3.4



$$\begin{array}{r} 24 \overline{) 97} \\ \underline{96} \\ 1 \end{array}$$

スタート

ホップ

ステップ

ジャンプ

足立区学習教材「次へのステップ」小学校算数の使用について

足立区学習教材「次へのステップ」は次のコンセプトに基づいて作成しました。日々の授業のふりかえり学習、朝学習、家庭学習、長期休業中の補習や課題として使用するなど、各校で児童や生徒の状況に応じて活用してください。

1 学校で使用する教科書に内容構成を準拠させることにより、効率的な学習を進めることができるようにしました。

⇒令和2年度より足立区が採用している教科書に合わせた単元構成にしてあります。

2 算数を苦手とする児童も、無理なく学習できるよう、段階を踏んだ問題内容としました。

⇒同じ単元を「スタート」で確認するほか、「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で難易度の違う問題構成として取り組めるようにしています。児童や生徒の習熟度に合わせて問題を選び使用できます。

3 繰り返し学習を促すしくみを取り入れました。

⇒学年ごとに1冊の問題集となるような構成としています。巻末に「学習の記録」欄を設け、学習の記録を残し、できなかったところを再度学習できるようにしました。

それぞれの問題は、1ページごとにまとまっています。必要なページを学習用に印刷し、児童の習熟度にあわせて学習させることができます。それぞれのページには、学習日や正しく答えられた問題数を記入する欄が設けてあります。これを巻末「学習の記録」にまとめさせることで、できなかった部分を確認できるようにしています。

4 「ふりかえり学習」を意識した内容としました。

⇒他学年の学習内容をおこなう際の児童の抵抗感をなくすため、各ページにはあえて学年表示をしていません。つまずきのある単元をふりかえって学習したり、児童の習熟度を確認する場合に、学年を意識させずに使用することができます。

各学年のページが、他の学年のどこにつながるかを領域別にわかるように「系統表」を掲載しました。それぞれの学年ごとのページを提示していますので、児童の実態や授業の進度にあわせ、関連ページを学習させることができます。

5 児童・生徒が自ら学習を進めたり、保護者が学習を確認したりできるようにしました。

⇒保護者、児童・生徒用に印刷して配布できるよう、この問題集の使い方（次へのステップの内容、次へのステップの使い方、計算で使ういろいろな図）を掲載しています。また、解答を別冊とし、必要な部分には簡単な解説を加えています。

○本教材は、校務支援システムの書庫に電子データとして格納します。そこからプリントアウトして児童に配布してください。

○電子データはPDFファイルのほか、ワードデータの提供もいたします。必要に応じ問題や得点合計欄などを改変して活用していただくこともできます。

次へのステップの使い方



つき きほんてき ないよう はってんてき ないよう く
 「次へのステップ」は、基本的な学習内容から、発展的な学習内容を、繰り返し学
 習することで、学習内容の定着を図ることができます。
 ないよう ていちやく はか
 きろく きにゆう けいかくてき
 「学習の記録」に取り組んだ日などを記入し、計画的に取り組んでいきましょう。

スタート

1 九九を見なおそう

かけ算のきまり
 ① かける数が1ふえると、答えはかけられる数だけ大きくなります。
 $8 \times 5 = 8 \times 4 + 8$
 ② かける数が1へると、答えはかけられる数だけ小さくなります。
 $8 \times 5 = 8 \times 6 - 8$
 ③ かけられる数とかける数を入れかえて計算しても、答えは同じになります。
 $8 \times 5 = 5 \times 8$
 2. ① かけ算では、かけられる数を分けて計算しても、答えは同じになります。
 ② かけ算では、かける数を分けて計算しても、答えは同じになります。
 $8 \times 5 < \begin{matrix} 5 \times 5 = 25 \\ 3 \times 5 = 15 \end{matrix}$ $8 \times 5 < \begin{matrix} 8 \times 3 = 24 \\ 8 \times 2 = 16 \end{matrix}$
 3. 13×6のような計算も、九九や10のだんのかけ算を使ってもとめることができます。
 $13 \times 6 < \begin{matrix} 10 \times 6 = 60 \\ 3 \times 6 = 18 \\ 78 \end{matrix}$

□にあてはまる数を書きましょう。
 (1) $7 \times 6 = 7 \times \square + 7$ (2) $8 \times 7 = 8 \times \square - 8$
 (3) $6 \times \square = 18$ (4) $\square \times 9 = 27$

0のかけ算
 びんな数に0をかけても、答えは0になります。
 また、0にびんな数をかけても、答えは0になります。
 □にあてはまる数を書きましょう。
 (1) $8 \times 0 = \square$ (2) $\square \times 3 = 0$

基本単元で学習する内容の解説のページです。例題もあります。

ホップ

1 九九を見なおそう

□にあてはまる数を書きましょう。
 (1) $5 \times 4 = 5 \times \square + 5$ (2) $7 \times 8 + 7 = 7 \times \square$
 (3) $3 \times 4 = 3 \times 5 - \square$ (4) $8 \times 6 = 8 \times 8 - \square$

□にあてはまる数を書きましょう。
 (1) $4 \times \square = 32$ (2) $7 \times \square = 49$
 (3) $\square \times 5 = 45$ (4) $\square \times 9 = 27$

計算をしましょう。
 (1) 10×3 (2) 10×7
 (3) 4×10 (4) 9×10
 (5) 1×0 (6) 5×0
 (7) 0×8 (8) 9×0
 (9) 0×0 (10) 0×10

基本的な問題です。わからなくなったら、「スタート」のページで確認しましょう。

ステップ

1 九九を見なおそう

① かけ算について、□にあてはまることばの数を書きましょう。
 (1) かける数が1ふえると、答えは□数だけ大きくなります。
 8×6 の答えは、 8×5 の答えより□次小さい。
 (2) かける数が1へると、答えは□数だけ小さくなります。
 3×8 の答えは、 $3 \times \square$ の答えより3小さい。
 (3) 下のかけ算のように、かけられる数と□数を入れかえて計算しても、答えは同じになります。
 $4 \times 7 = \square \times \square$ (答え)

□にあてはまる数を書きましょう。
 (1) 2×9 の答えは、 2×5 と $2 \times \square$ の答えをあわせてください。
 (2) 9×6 の答えは、 $9 \times \square$ と 9×3 の答えをあわせてください。
 (3) 7×8 の答えは、 7×6 と $7 \times \square$ の答えをあわせてください。
 (4) 4×5 の答えは、 $4 \times \square$ と 4×2 の答えをあわせてください。

□にあてはまる数を書きましょう。
 (1) $3 \times \square = 15$ (2) $6 \times \square = 42$
 (3) $8 \times \square = 72$ (4) $\square \times 6 = 42$
 (5) $\square \times 5 = 25$ (6) $\square \times 4 = 24$

教科書の練習問題と同じくらいのレベルです。教科書も参考にしながら取り組んでみましょう。

ジャンプ

1 九九を見なおそう

1. 1冊と2冊と、1冊と2冊のキップルがそれぞれ16冊あります。キップルは全部で110冊です。2冊と2冊と2冊のキップルの冊数をそれぞれ何冊ありますか。
 (式)
 答え、2冊入り□冊、6冊入り□冊

2. 1冊10cmの紙テープを、のりを使って6冊つなげます。のりしろは1cmにする。つなげたテープの長さは何cmになるでしょう。
 (式)
 答え、□

3. 8人の列が2列、7人の列が2列あります。全部で何人いますか。
 (式)
 答え、□

4. おおとろさんは、1まい2円の高級紙を9まい買いました。紙代はいくらになりますか。
 (式)
 答え、□

教科書より少し難しい問題です。チャレンジしてみましょう。

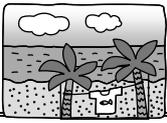
もくじ



問題ページ(解答ページ)

1	大きな数	1 ページ (65 ページ)
2	わり算の筆算	5 ページ (65 ページ)
3	折れ線グラフ	9 ページ (66 ページ)
4	角	13 ページ (67 ページ)
5	2けたの数のわり算	17 ページ (68 ページ)
6	およその数(がい数)	21 ページ (68 ページ)
7	垂直、平行と四角形	25 ページ (69 ページ)
8	式と計算	29 ページ (70 ページ)
9	面積	33 ページ (71 ページ)
10	整理のしかた	37 ページ (72 ページ)
11	小数のしくみとたし算、ひき算	41 ページ (72 ページ)
12	変わり方、くらべ方	45 ページ (73 ページ)
13	そろばん	49 ページ (73 ページ)
14	小数と整数のかけ算、わり算	53 ページ (74 ページ)
15	立体	57 ページ (74 ページ)
16	分数の大きさとたし算、ひき算	61 ページ (75 ページ)



	始めた 日	終わった 日	あてはまるところに○をつけよう				みなおし たら、○ をつけよう
			よくできた	まあまあ できた	あまり できなかった	できな かった	
1 大きな数							
2 わり算の筆算							
3 折れ線グラフ							
4 角							
5 2けたの数の わり算							
6 およその数 (がい数)							
7 垂直、平行と 四角形							
8 式と計算							
9 面積							
10 整理のしかた							
11 小数のしくみと たし算、ひき算							
12 変わり方、 くらべ方							
13 そろばん							
14 小数と整数の かけ算、わり算							
15 立体							
16 分数の大きさと たし算、ひき算							



算数科指導内容系統表

○：上巻 ●：下巻

領域	1 年	2 年	3 年	領域	4 年	5 年	6 年
A 数 と 計 算	○いくつか P10 ○なんばんめ P24 ○いくつといくつ P31 ○10より大きい数 P74 ○大きな数 P142 ○ぜんぶでいくつ、たし算 P43 P142 ○のこりはいくつ、どれだけおおい	○100より大きい数 P66 ●1000より大きい数 P71 ●九九の表 P56 ●1を分けて P90 ○たし算 P22 ○ひき算 P38 ○たし算とひき算 P86 ●かけ算 P2 ●かけ算九九づくり P46	○10000より大きい数 P106 ○整数の加法、減法 P34 ○整数の乗法 P10 ●P2 P84 ○除法の意味 P51 ○小数の意味、表し方 P66 ●小数(1/10の位)の加減法 P74 ○分数の意味、表し方 P51 P93 ●簡単な分数の加減法 P36		○大きな数 P10 ○概数、四捨五入 P90 ○整数の乗法 P24 ○整数の除法 P74 ●小数の加減 P36 ●異分母分数の加減法 P110 ○そろばん P21	○整数の見方 P97 ○分数と小数、整数の 関係 P10 P157 ○小数の乗除 P44 P78 ○異分母分数の加減法 P113	○分数の乗除 P52 P66 (分数×÷整数) ○分数と整数の乗除法 P22
	B 図 形	P57 P68 ○ひき算 P116 ○かたちあそび P90 ○かたちづくり P168	○長さ P52 ○三角形と四角形 P114 ●はこのかたち P65	●そろばん P105 ○円と球 P118 ●三角形 P50	○垂直、平行と四角形 P108 ○角 P59 ●立体 P94	○正多角形と円 P222 ○合同と三角形、四角形 P58 ○角柱と円柱 P240	○対称な図形 P34 ○拡大図と縮図 P160
C 測 定	○くらべかた P128 ○いまなんじ P28 なんじなんじはん P58	○長さ P52 ●長いものの長さ P46 ○水のかさ P102 ○時こくと時間 P15	○長さ P67 ●重さ P20 ○時こくと時間 P22	C 変 化 と 関 係	○折れ線グラフ P44 ●変わり方 P52 ●くらべ方 P60 ●小数と整数の乗除法 P73	○四角形や三角形の面積 P198 ○割合 P168 ○2つの量の変わり方 P34	○角柱、円柱の体積 P140 ○比例と反比例 P116 ○比 P149
デ ー タ の 見 方	○かずをせいりして P86	○表とグラフ P10	○表とぼうグラフ P76	●整理のしかた P22 ○折れ線グラフ P44	○平均 P126 ○割合とグラフ P184	○データの見方 P82 ○並べ方と組み合わせ P180	

1	大きな数	年 組 番	
		氏名	

大きい数のしくみ

1. 千万の位の左の位をくらい いちおく一億の位といいます。1億は千万を10こ集めた数です。
 180549842773は「千八百五億四千九百八十四万二千七百七十三」です。
 千億の10倍をいっちょう一兆といいます。
 2190032786534000は「二千百九十兆三百二十七億八千六百五十三万四千」です。

千兆の位	百兆の位	十兆の位	一兆の位	千億の位	百億の位	十億の位	一億の位	千万の位	百万の位	十万の位	一万の位	千の位	百の位	十の位	一の位
				1	8	0	5	4	9	8	4	2	7	7	3
2	1	9	0	0	3	2	7	8	6	5	3	4	0	0	0

2. 整数は、位が1つ左に進むごとに、10倍になるしくみになっています。

●例題● 32500000000はどんな数でしょう。

千	百	十	一	千	百	十	一	千	百	十	一
億				万							
	3	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0

(とき方) 32500000000は1億を こ集めた数で、 と読みます。

整数のしくみ

1. 整数を10倍すると、位は1けたずつ上がります。
 また、整数を $\frac{1}{10}$ にすると、位は1けたずつ下がります。
2. 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9の10この数字を使うと、どんな大きな整数でも表すことができます。

かけ算

1. かけ算の答えをせき積といいます。
2. 終わりに0のある数のかけ算は0はぶを省いて計算し、その積の右に、省いた0の数だけ0をつけます。

$$\begin{array}{r}
 365 \times 182 \\
 \underline{365} \\
 730 \\
 \underline{2920} \\
 365 \\
 \underline{66430} \\
 66430
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 6300 \times 240 \\
 \underline{6300} \\
 2520 \\
 \underline{12600} \\
 1512000 \\
 1512000
 \end{array}$$

1	大きな数	年 組 番	12 問
		氏名	

① 次の数を読みましょう。

(1) 800058002600

(2) 90339900000000

② 数字で書きましょう。

(1) 一億^{おく}九千六百三十万四千五百

(2) 九十六兆^{ちょう}四千五百億三千五百二十五万六千

③ 次の数を10倍した数, $\frac{1}{10}$ にした数はいくつですか。

(1) 80億

10倍した数

$\frac{1}{10}$ にした数

(2) 6兆

10倍した数

$\frac{1}{10}$ にした数

④ 次のかけ算をしましょう。

$$\begin{array}{r} 5200 \\ \times 80 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 270 \\ \times 3800 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 370 \\ \times 2000 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 2100 \\ \times 25 \\ \hline \end{array}$$

1	大きな数	年 組 番	10 問
		氏名	

① 数字で書きましょう。

(1) 1億^{おく}を5こ、10万を9こあわせた数

(2) 1兆^{ちょう}を6こ、100億を9こ、10億を3こ、1万を4こあわせた数

② □にあてはまる数を書きましょう。

(1) 1億を650こ集めた数は です。

(2) 6780000000は、1000万を こ集めた数です。

(3) 10兆^{ちょう}は1億の 倍です。

(4) 41800000000000は、100億を こ集めた数です。

③ 80683200410について答えましょう。

(1) 十億の位の数字は何ですか。

(2) この数を10倍した数、 $\frac{1}{10}$ にした数は、それぞれいくつですか。

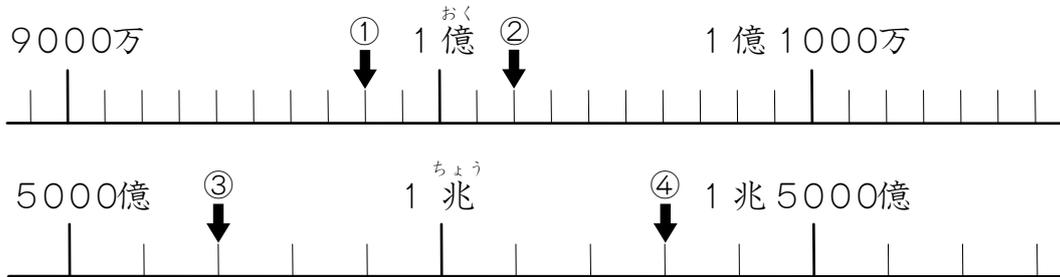
10倍した数

$\frac{1}{10}$ にした数

④ 0から9までの数字を、どれも1回ずつ使って、10けたの整数をつくる時、2番めに大きい整数はいくつですか。

1 大きな数	年 組 番	12 問
	氏名	

1. 下の数直線で、①、②、③、④のめもりが表す数を書きましょう。



①		②	
③		④	

2. 下の筆算はまちがっています。そのわけを説明して、正しく計算しましょう。

$$\begin{array}{r}
 205 \\
 \times 306 \\
 \hline
 1230 \\
 615 \\
 \hline
 7380
 \end{array}$$

説明	正しい計算
	$ \begin{array}{r} 205 \\ \times 306 \\ \hline \end{array} $

3. 次の計算の□にあてはまる数を答えましょう。また、なぜその数字が入るのか、筆算の式を書いて説明しましょう。

$$302 \square \text{ア} \times \square \text{イ} 72 = 29 \square \text{ウ} 0300$$

ア イ ウ

説明

4. 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9の数字を書いた10まいのカードがあります。これをならべて9けたの整数をつくりま。

(1) いちばん小さい整数は何ですか。

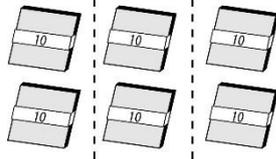
(2) 5000000000にいちばん近い数は何ですか。

2 わり算の筆算	年 組 番	
	氏名	

何十、何百のわり算

1. 何十をわるわり算は、10のたばで考えます。

$$60 \div 3$$



10まいのたばを3人に分ける。

$$\rightarrow 6 \div 3 = 2 \rightarrow 60 \div 3 = 20$$

1人分は20まい

2. 何百をわるわり算は、100のたばで考えます。

わり算の筆算(1)

1. $78 \div 3$ の筆算のしかた

$$\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{) 78} \\ \underline{6} \\ 18 \\ \underline{18} \\ 0 \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 26 \\ 3 \overline{) 78} \\ \underline{6} \\ 18 \\ \underline{18} \\ 0 \end{array}$$

2. $643 \div 5$ の筆算のしかた

$$\begin{array}{r} 1 \\ 5 \overline{) 643} \\ \underline{5} \\ 14 \\ \underline{10} \\ 43 \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 128 \\ 5 \overline{) 643} \\ \underline{5} \\ 14 \\ \underline{10} \\ 43 \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 128 \\ 5 \overline{) 643} \\ \underline{5} \\ 14 \\ \underline{10} \\ 43 \\ \underline{40} \\ 3 \end{array}$$

2. 答えのたしかめ

わる数 \times 商 + あまり = わられる数

$$95 \div 6 = 15 \text{ あまり } 5 \rightarrow 6 \times 15 + 5 = 95$$

わり算の筆算(2)

$288 \div 6$ の筆算のしかた

わられる数のいちばん左の位の数、わる数より小さいときは、次の位の数も入れて計算を始めます。

$$\begin{array}{r} 4 \\ 6 \overline{) 288} \\ \underline{24} \\ 48 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 48 \\ 6 \overline{) 288} \\ \underline{24} \\ 48 \\ \underline{48} \\ 0 \end{array}$$

倍の計算のしかた

4倍というのは、3mを1とみたとき、12mが4にあたることを表しています。

$$12 \div 3 = 4 \rightarrow 12\text{mは}3\text{mの}4\text{倍}$$

●例題● 白いバラが32本、赤いバラが8本さいています。白いバラは赤いバラの何倍さいていますか。

(とき方) $32 \div \square = \square$

答え \square 倍

2	わり算の筆算	年 組 番	11問
		氏名	

① 計算をしましょう。

(1) $90 \div 9$

(2) $200 \div 5$

(3) $2700 \div 3$

② わり算をしましょう。

(1)

$$5 \overline{) 80}$$

(2)

$$3 \overline{) 76}$$

(3)

$$8 \overline{) 60}$$

(4)

$$5 \overline{) 950}$$

(5)

$$9 \overline{) 567}$$

(6)

$$7 \overline{) 731}$$

③ わりきれの問題にするために、□の中にどのような数を入れたらよいでしょう。

(1) $4 \overline{) 5 \square}$

(2) $3 \overline{) 8 \square}$

2	わり算の筆算	年 組 番	13 問
		氏名	

① 150まいの色紙を3人で同じ数ずつ分けます。1人分は何まいになるか考えます。次の□にあてはまる数を書きましょう。

(1) 1人分のまい数を求める式を書きましょう。

$\square \div \square$

(2) 10まいのたば15たばを、3人で同じ数ずつ分ければよいから、

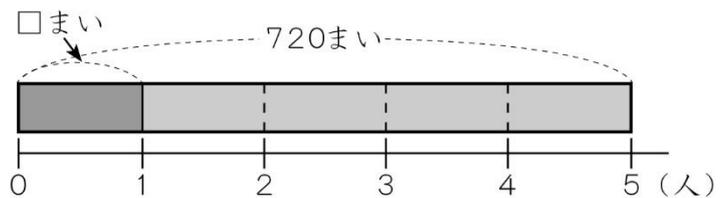
$\square \div 3 = 5$

 となります。

(3) 1人分は、10まいのたばが たば分で、 まいです。

(4) (1)の式を計算すると、 \div $=$ になります。

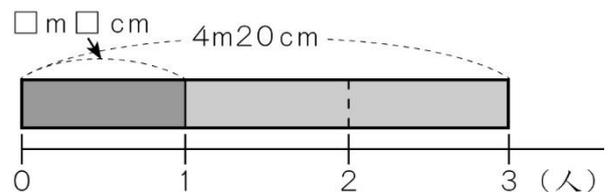
② 720まいの色紙を、5人で同じ数ずつ分けます。1人分は何まいになるでしょう。



(式)

答え

③ 4m20cmのリボンを3人で分けると、1人分は何m何cmになるでしょう。



(式)

答え

④ かおりさんは112ページの本を読んでいます。

1日に9ページずつ読むとすると、読み終わるのに何日かかるでしょう。

(式)

答え

⑤ 赤いひもの長さは、白いひもの長さの6倍で42mです。白いひもの長さは何mでしょう。

(式)

答え

2	わり算の筆算	年 組 番	9 問
		氏名	

1. 上の式と下の式の商が同じになる組をすべてえらび、記号で答えましょう。
- | | | | |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
| ア | イ | ウ | エ |
| $360 \div 40$ | $360 \div 40$ | $360 \div 40$ | $360 \div 40$ |
| $36 \div 4$ | $360 \div 4$ | $180 \div 20$ | $36 \div 40$ |

2. 下の筆算はまちがっています。そのわけを説明して、正しく計算しましょう。

$ \begin{array}{r} 280 \\ 4 \overline{) 832} \\ \underline{8} \\ 32 \\ \underline{32} \\ 0 \end{array} $	説明	正しい計算
		$ \begin{array}{r} 4 \overline{) 832} \end{array} $

3. 1パックに5こずつ入っているヨーグルトのねだんは350円です。
このヨーグルト20この代金はいくらでしょう。

(1) ヨーグルト1このねだんをを考えてから計算しましょう。

(式)

答え

(2) 20こは、5この何倍かを考えてから計算しましょう。

(式)

答え

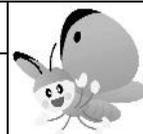
4. 1たば16本のバラが3たばあります。このバラを同じ本数ずつ4たばにするには、1たばを何本にすればよいでしょう。

(式)

3 折れ線グラフ

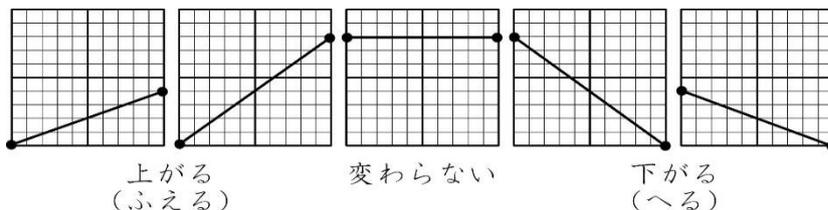
年 組 番

氏名



折れ線グラフ

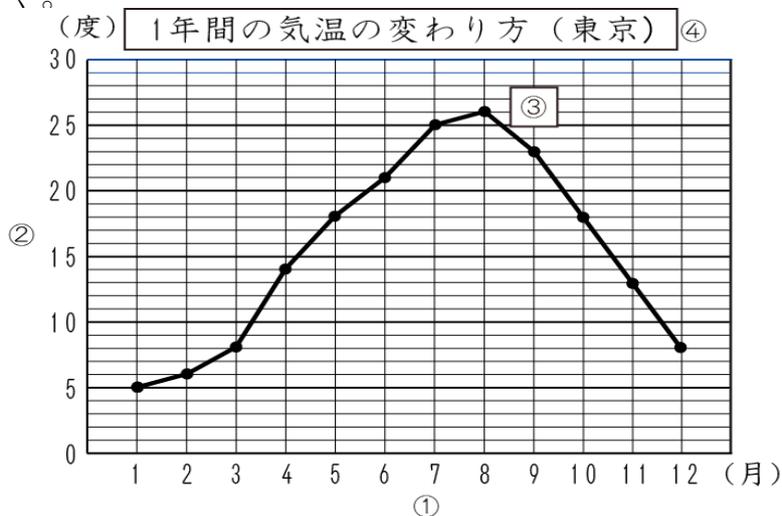
折れ線グラフでは、線のかたむきで^か変わり方がわかります。また、線のかたむきが急であるほど、変わり方が大きいことを表しています。



折れ線グラフのかき方

(1年間の気温の変わり方)

- ① 横のじくに「月」をとり、同じ間をあけて書く。^{たんい}単位も書く。
- ② たてのじくに「気温」をとり、いちばん高い気温が表せるようにメモリのつけ方を考え、メモリの表す数を書く。単位も書く。
- ③ それぞれの月の気温を表すところに点をうち、点を直線につなぐ。
- ④ 表題を書く。



●例題● 上の折れ線グラフで、気温の上がり方がいちばん大きいのは、何月と何月の間ですか。

(とき方) 気温の上がり方がいちばん大きいのは、右上がりです。線のかたむきがいちばん急なところでは、月から月の間で、8度から度に上がっています。

3 折れ線グラフ	年 組 番	6 問
	氏名	

① 折れ線グラフで表すとよいものを㉑～㉕の中から選びましょう。

- ㉑ 教室で調べた1時間ごとの気温
- ㉒ 学校で調べた いちばん好きな遊びについての人数
- ㉓ 毎年4月に調べた自分の身長
- ㉔ 毎週金曜日に調べたへちまのつるの長さ
- ㉕ 1時間に道路を通った乗り物の種類とその数

② 右の折れ線グラフは、A区の1年間の気温の変わり方を表したものです。

(1) たてのじくと横のじくは、それぞれ何を表していますか。

たてのじく

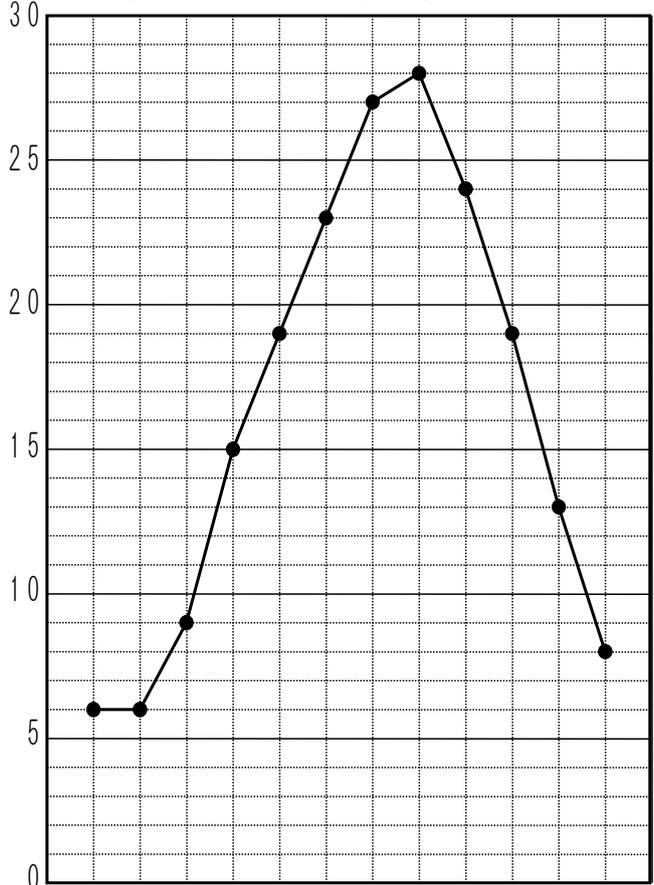
横のじく

(2) いちばん気温が高いのは何月で、それは何度ですか。

月

気温

(度) 1年間の気温の変わり方 (A区)



(3) 5月と6月の間は、気温が4度上がっています。3月と4月の間は何度上がっているでしょう。

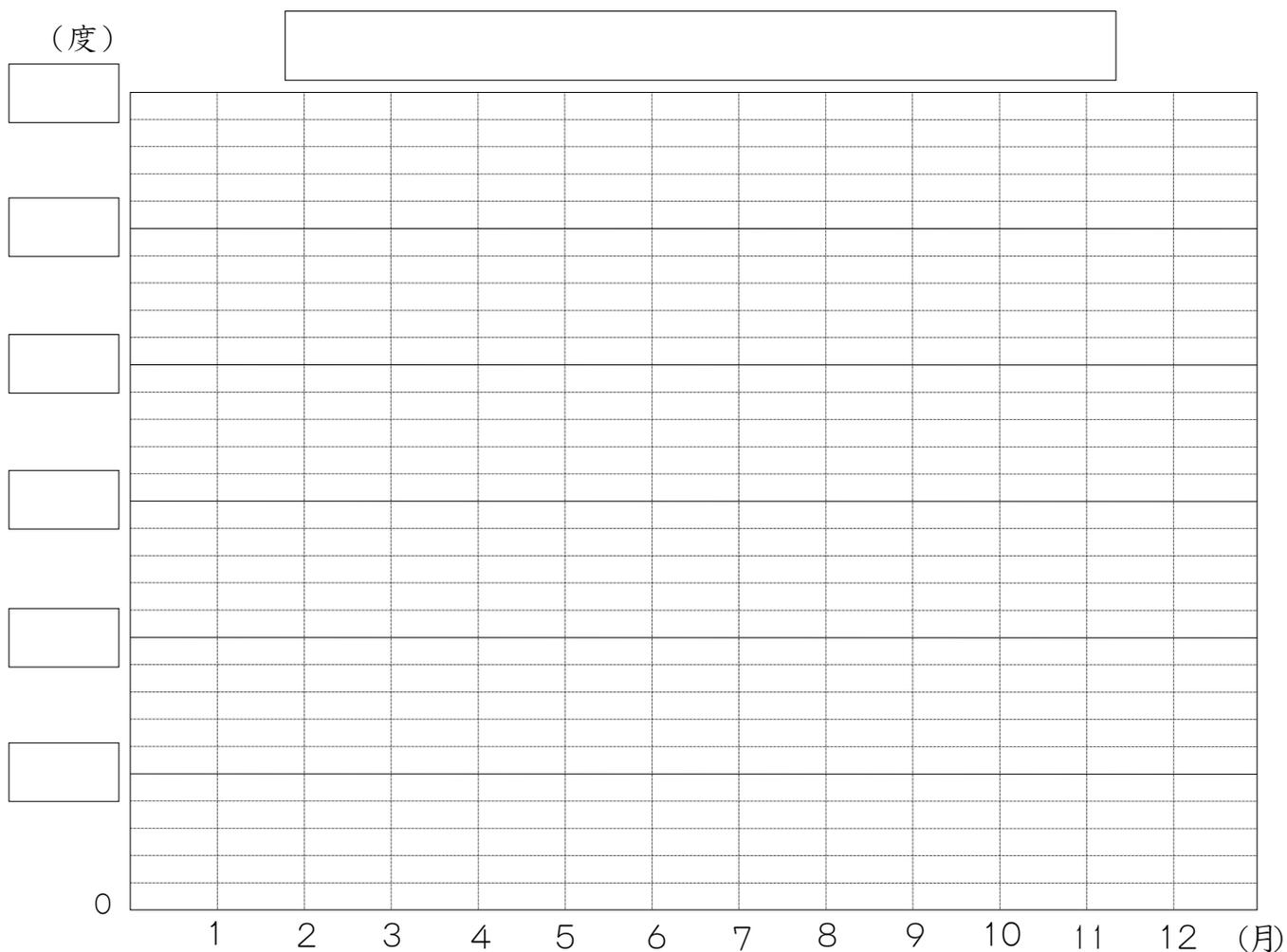
3	折れ線グラフ	年 組 番	10問
		氏名	

① 下の表は，B市の1年間の気温の^か変わり方を表したものです。

(1) 下の表を折れ線グラフに表しましょう。

1年間の気温の変わり方 (B市)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
気温(度)	2	2	5	9	15	18	22	26	20	15	9	4



(2) (1)のグラフで，気温の上がり方がいちばん大きいのは何月から何月の間でしよう。

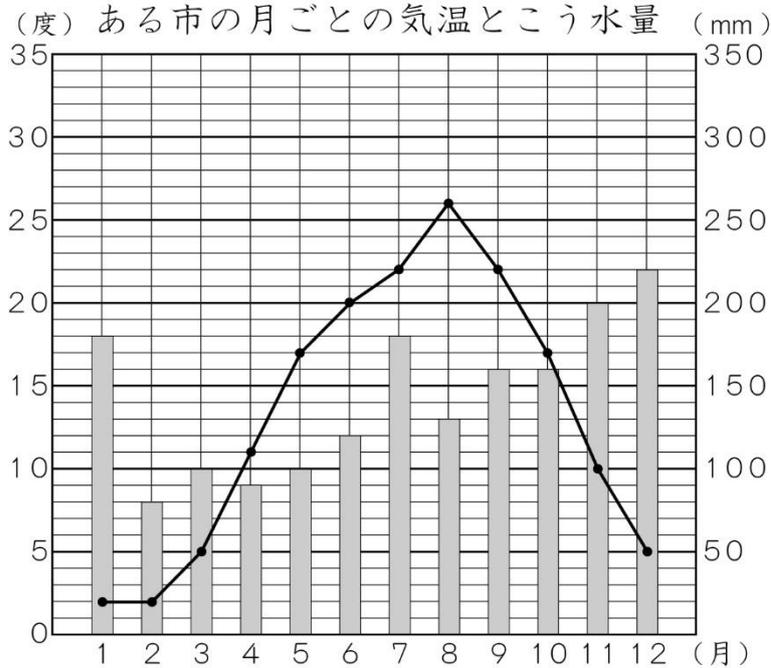
月から 月の間

(3) (1)のグラフで，気温の下がり方がいちばん大きいのは何月から何月の間でしよう。

月から 月の間

3 折れ線グラフ	年 組 番	9 問
	氏名	

1. 下の図は、ある市の1年間の気温の変わり方と月別のこう水量を表したグラフです。

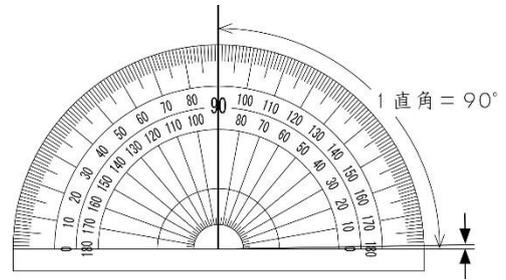


- (1) いちばん気温の高い月は 月 気温
何月で、それは何度でしょう。
- (2) いちばんこう水量の多い月は 月 こう水量
何月でそれは何mmでしょう。
- (3) 気温が変わっていないのは、 月から 月の間
何月と何月の間でしょう。
- (4) 気温のいちばん高い月といちばん低い月のちがいは何度でしょう。
- (5) こう水量のいちばん多い月といちばん少ない月とのちがいは何mmでしょう。
- (6) 上のグラフからどんなことがわかりますか。

4 角	年 組 番	
	氏名	

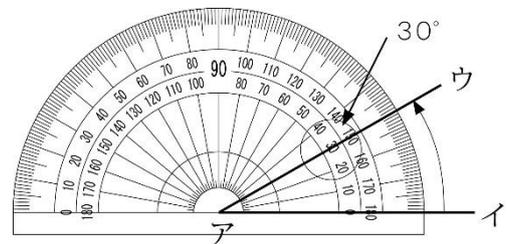
回転の角の大きさ

- 角の大きさをはかるには、^{ぶんどき}分度器を使います。
- 直角を90に等分した1つ分の角の大きさを1^ど度といい、1°と書きます。
- 1直角 = 90°



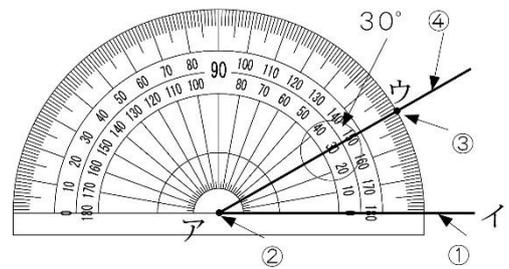
角度のはかり方

- 分度器の中心を、角の頂点アに合わせる。
- 0°の線を辺アイに合わせる。
- 辺アウと重なっているめもりをよむ。



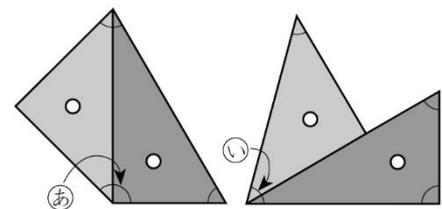
角のかき方(30°の角)

- 辺アイをひく。
- 分度器の中心を点アに合わせ、0°の線を辺アイに合わせる。
- 30°のめもりのところに点ウをうつ。
- 点アと点ウを通る直線をひく。



三角じょうぎと角

1組の三角じょうぎの組み合わせ方をくふうすると、いろいろな角度をつくることができます。



●例題● 上の㊸, ㊹の角は何度ですか。

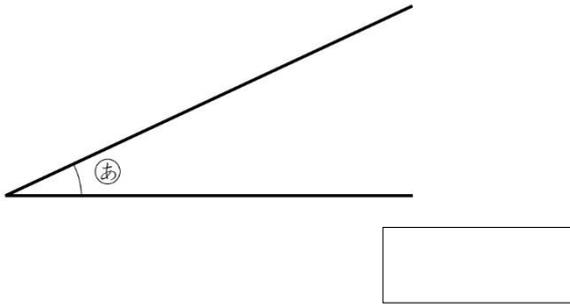
(とき方) ㊸の角度 $45 + 90 = \square \rightarrow \square^\circ$

㊹の角度 $45 + 30 = \square \rightarrow \square^\circ$

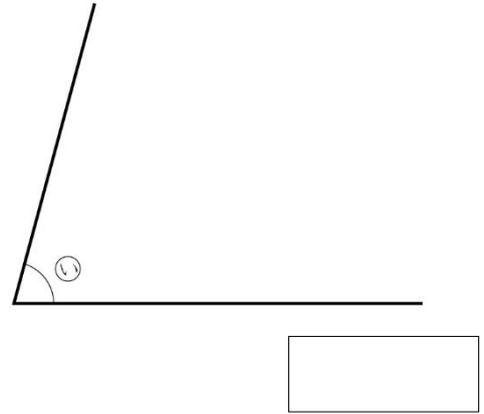
4 角	年 組 番	8問
	氏名	

① ^{ぶんどき}分度器を使って、次の㉠、㉡、㉢、㉣の角をはかりましょう。

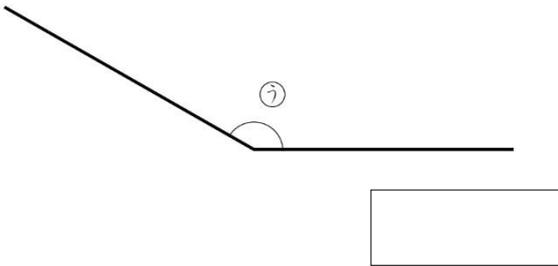
(1)



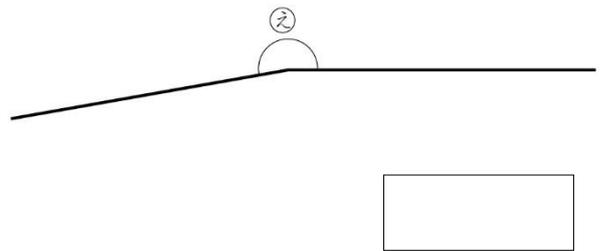
(2)



(3)



(4)

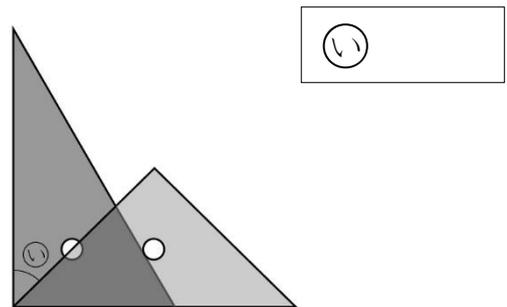
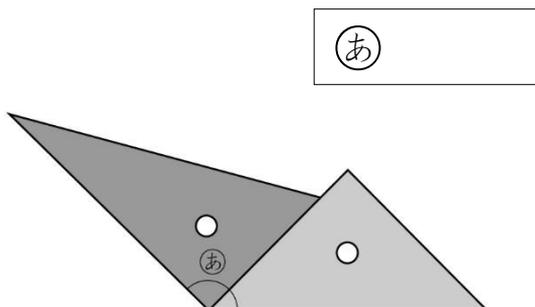


② 分度器を使って、点アをちょう点とする次の角をかきましょう。

(1) 85°

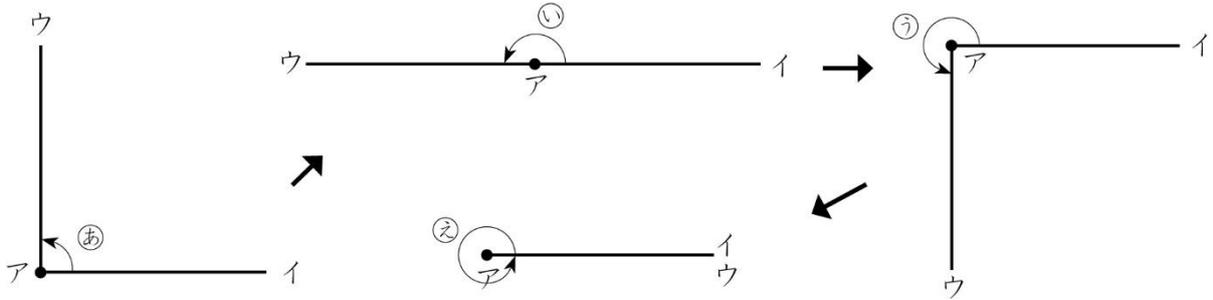
(2) 140°

③ ^ア1組の三角じょうぎを組み合わせることができる^イ㉠、㉡の角度は何度でしょう。



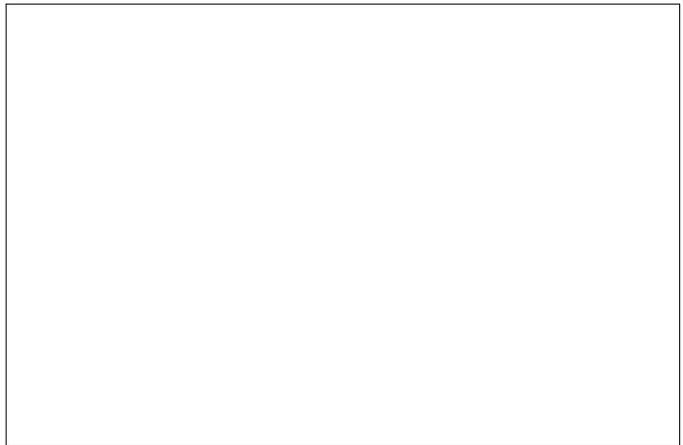
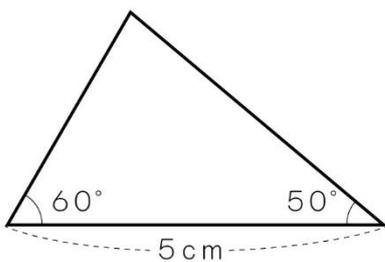
4 角	年 組 番	7 問
	氏名	

① 次の図は、ちょう点アを中心にして辺アイを回転させてできた角です。
□にあてはまる数を書きましょう。

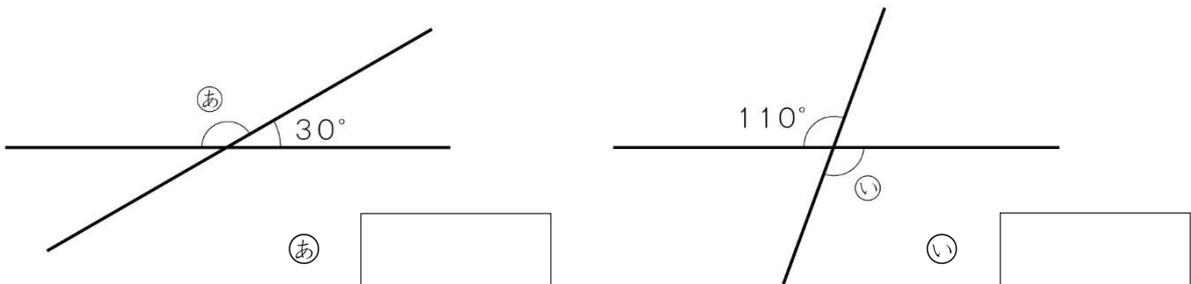


- (1) ①の角の大きさは、□ 直角です。
- (2) ②の角は半回転したときの角で、□ 直角です。
- (3) ③の角の大きさは、□ 直角です。
- (4) ④の角は1回転したときの角で、□ 直角です。

② 下の図のような三角形を、
右のわくの中にかきましょう。

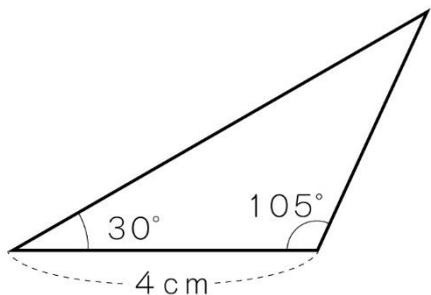


③ ①, ②の角度は何度ですか。



4 角	年 組 番	5 問
	氏名	

1. 下の図のような三角形を、
右のわくの中にかきましょう。



2. 次の角をくふうしてかきましょう。

(1) 280°

(2) 345°

3. 1組の三角じょうぎを使って 135° の角をつくります。どのように組み合わせればよいでしょうか。

図や式，ことばを使って組み合わせ方を説明しましょう。

135° の角をかきましょう。	説明しましょう。
------------------------	----------

5	2けたの数のわり算	年 組 番	
		氏名	

何十でわるわり算

10をもとにして考えると、 $80 \div 20$ の商は、 $8 \div 2$ の計算で求められます。

$$80 \div 20 \rightarrow 8 \div 2 = 4 \rightarrow 80 \div 20 = 4$$

●例題● $160 \div 30$ の計算のしかたを考えましょう。

(とき方) 10をもとにして考えると、 $16 \div 3 = \square$ あまり \square
 あまりの \square は10が \square つ分ですから、 $160 \div 30 = \square$ あまり \square

2けたの数でわる筆算(1)

1. $86 \div 23$, $91 \div 18$ の筆算のしかた

かりの商が大きすぎたときは小さくし、小さすぎたときは大きくしてみます。

$$\begin{array}{r} 4 \\ 23 \overline{)86} \\ \underline{92} \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 3 \\ 23 \overline{)86} \\ \underline{69} \\ 17 \end{array} \qquad \begin{array}{r} 4 \\ 18 \overline{)91} \\ \underline{72} \\ 19 \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 5 \\ 18 \overline{)91} \\ \underline{90} \\ 1 \end{array}$$

2. $215 \div 38$ の筆算のしかた

商は一の位にたちます。かりの商が大きすぎたときは小さくします。

$$\begin{array}{r} 6 \\ 38 \overline{)215} \\ \underline{228} \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 5 \\ 38 \overline{)215} \\ \underline{190} \\ 25 \end{array}$$

2けたの数でわる筆算(2)

$437 \div 24$ の筆算のしかた

$437 \div 24$ だから、百の位に商は立ちません。

$$\begin{array}{r} 24 \overline{)437} \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 1 \\ 24 \overline{)437} \\ \underline{24} \\ 19 \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 18 \\ 24 \overline{)437} \\ \underline{24} \\ 197 \\ \underline{192} \\ 5 \end{array}$$

わり算のきまり

わり算では、わられる数とわる数を同じ数でわっても商は変わりません。
 また、わられる数とわる数に同じ数をかけても商は変わりません。

$$120 \div 40 = 3 \Leftrightarrow 12 \div 4 = 3$$

5	2けたの数のわり算	年 組 番	9 問
		氏名	

① わり算をしましょう。わりきれないときはあまりをだしましょう。

(1) $90 \div 30$ (2) $540 \div 60$ (3) $500 \div 80$

② 計算をしましょう。わりきれないときはあまりをだしましょう。

(1)

$$24 \overline{) 75}$$

(2)

$$26 \overline{) 96}$$

(3)

$$33 \overline{) 68}$$

(4)

$$57 \overline{) 515}$$

(5)

$$46 \overline{) 346}$$

③ 商が10より小さくなるのは、□に入る数がどんな数のときでしょう。

あてはまる数をすべて書き出しましょう。

$$4 \square 5 \div 42 < 10$$

5	2けたの数のわり算	年 組 番	11問
		氏名	

① 次の筆算をしましょう。また、答えもたしかめましょう。

(1)

$$17 \overline{) 89}$$

けん算

(2)

$$34 \overline{) 81}$$

けん算

② 次の筆算をしましょう。

(1)

$$25 \overline{) 604}$$

(2)

$$24 \overline{) 862}$$

(3)

$$37 \overline{) 774}$$

(4)

$$82 \overline{) 952}$$

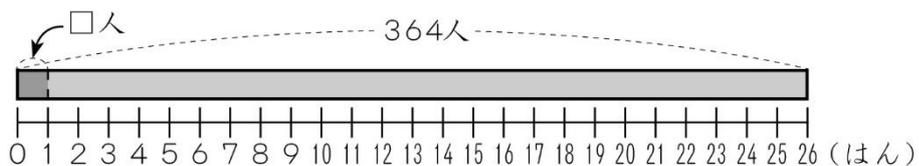
③ ㉖～㉘のうち、上の式と下の式の商が同じになる組はどれでしょう。

㉖ $360 \div 40$
 $36 \div 4$

㉗ $360 \div 40$
 $180 \div 20$

㉘ $360 \div 40$
 $360 \div 4$

④ 364 人を 26 はんに同じ人数ずつ分けます。1 つのはんは、何人になるでしょう。



(式)

答え

5	2けたの数のわり算	年 組 番	12問
		氏名	

1. 筆算で計算しましょう。

(1) $39 \div 16$

(2) $457 \div 63$

(3) $207 \div 28$

(4) $128 \div 13$

(5) $705 \div 34$

(6) $6800 \div 700$

2. 赤色のリボンは7m2cmで、青色のリボンは27cmです。
赤色のリボンは青色のリボンの何倍でしょう。

(式)

答え

3. 右のわり算で、商が10より小さくなるのは、□がどんな数のときでしょう。

$$\begin{array}{r} 43 \overline{)4 \square 6} \end{array}$$

答え

理由

4. ある数を42でわったら、商が18で、あまりが21になりました。この数を7でわると、答えはいくつになるでしょう。

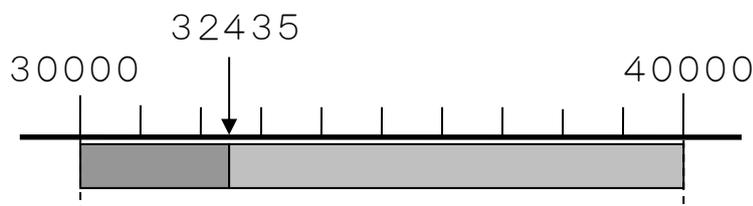
答え

考え方

6 およその数（がい数）	年 組 番	
	氏名	

およその数の表し方

- 32435は、30000に近いので、およそ30000とします。
およその数のことをがい数すうといいます。



- 3000と4000の間の数を「約何千」とがい数やくで表すとき、百の位の数字が、0, 1, 2, 3, 4のときは、切り捨てて約3000、
5, 6, 7, 8, 9のときは、切り上げて約4000とします。このような方法を四捨五入ししごにゅうといいます。
- 四捨五入して一万の位までのがい数にするには、千の位で四捨五入します。
- 四捨五入して上から1けたのがい数にするには、上から2つめの位で四捨五入します。
- 165km以上いじょう…165kmと等しいかそれより長い
165km未満みまん…165kmより短い
165km以下いか…165kmと等しいかそれより短い

●例題● 755312を四捨五入して、一万の位までのがい数で表しましょう。

(とき方) の位の数は ですから、四捨五入すると になります。

がい数を使った計算

- 和や差を見積もるときには、がい数にして計算すると便利べんりです。
○287人と352人の合計の人数や差の見当さをつける。
四捨五入して十の位までのがい数にして和を見積もる。
 $287+352 \rightarrow 290+350=640 \rightarrow$ 約640人
 $352-287 \rightarrow 350-290=60 \rightarrow$ 約60人
- 積せきを見積もるときは、たとえば上から1けたのがい数にして計算すると、かん単に積を見積もることができます。
○1こ512円のチョコレート48こ分の代金の見当をつける。
 $512 \times 48 \rightarrow 500 \times 50 = 25000 \rightarrow$ およそ25000円

6	およその数 (がい数)	年 組 番	13 問
		氏名	

- ① 次の表は、ある動物園の入園者数を調べたものです。
それぞれの数をがい数で表しましょう。

ある動物園の入園者数

月	人数 (人)	十の位を四捨五入	千の位までのがい数
4	52554		
5	67143		
6	23052		

- ② 四捨五入して、一万の位までのがい数にしましょう。

(1) 735257

(2) 1349085

- ③ 四捨五入して、百の位までのがい数にすると、4100になる数をすべて選^{えら}びましょう。

㉞ 4051

㉟ 4160

㊱ 4048

㊲ 4149

㊳ 4010

- ④ 四捨五入して百の位までのがい数にして、答えを見積もりましょう。

(1) $612+147$ (2) $858-439$

- ⑤ 四捨五入して上から1けたのがい数にして、答えを見積もりましょう。

(1) 381×409 (2) $5714 \div 18$

6	およその数（がい数）	年 組 番	6 問
		氏名	

① がい数で表してもよいと思われるものを選びましょう。

- ㊦ 全国で、2月にインフルエンザで休んだ小学生の人数
- ㊧ クラスで欠席した人の数
- ㊨ 病気のときの体温
- ㊩ 遠足のとき、学校から目てき地までかかる時間
- ㊪ 健康的な生活によい部屋の温度



② 野球の試合の入場者数 44756 人を、がい数で約何万人と表そうとしています。四捨五入のしかたで正しいのは、きよしさんとあきこさんのどちらでしょう。



一の位は6だから、切り上げる。
 十の位は5 + 1で6になって切り上げる。
 百の位も7 + 1で8だから切り上げる。
 千の位も4 + 1で5になるから切り上げる。
 だから、約5万人になります。



4万人に近いか、5万人に近いかを考えるには
 千の位に目をつけます。
 千の位の4は切り捨てます。
 だから、約4万人です。

四捨五入して の位までのがい数にするには、 の位で四捨五入するので、 さんのほうが正しい。

③ 一の位で四捨五入して120になる整数のうちで、いちばん小さい数といちばん大きい数はいくつですか。



いちばん小さい数

いちばん大きい数

6	およその数 (がい数)	年 組 番	12 問
		氏名	

1. □にあてはまる数を書きましょう。

(1) 百の位で四捨五入して 35000 になる数のはんい
 いじょう 以上 みまん 未満

(2) 四捨五入して上から 2 けたのがい数にしたとき, 390 になる数のはんい
 以上 未満

2. スーパーマーケットに買い物に行きました。食料品売り場に次のような商品がありました。(1), (2)は理由を書き, 正しいほうに○をつけましょう。

キャベツ	280 円	トマト	96 円	にんじん	198 円
りんご	138 円	<small>だいこん</small> 大根	273 円	長ねぎ	98 円
<small>はくさい</small> 白菜	328 円	里いも	158 円	レタス	128 円

(1) まりさんは 1000 円を持っています。1000 円をこえないように買うには, それぞれの代金をどのように見積もったらいいですか。

理由

() 高く 見積もる
 () 低く

(2) 1000 円以上の買い物をすると, 福引きができます。1000 円をこえるように買うには, それぞれの代金をどのように見積もったらいいでしょう。

理由

() 高く 見積もる
 () 低く

(3) キャベツと白菜と里いもそれぞれ 1 こずつ買うと, 代金はおよそいくらかでしょう。四捨五入し, 百の位くらいまでのがい数にして計算しましょう。

(式) 答え 円

(4) 大根 3 本の代金はおよそ何円ですか。上から 1 けたのがい数にして計算しましょう。

(式) 答え 円

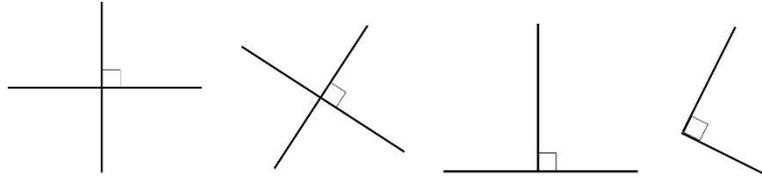
7 垂直、平行と四角形

年 組 番
氏名



直線の交わり方

2本の直線が交わってできる角が直角のとき、この2本の直線はすいちよく垂直であるといいます。



直線のならび方

1. 1本の直線に垂直な2本の直線は、

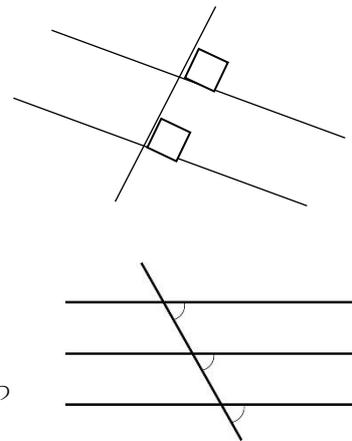
へいこう平行であるといいます。

2. 平行な直線のはばは、どこも等しく

なっています。

平行な直線は、どこまでのばしても交わりません。

3. 平行な直線は、ほかの直線と等しい角度で交わります。

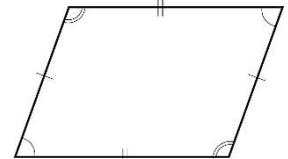


いろいろな四角形

1. 向かい合った1組の辺が平行な四角形を、だいけい台形といいます。

また、向かい合った2組の辺が平行な四角形を、へいこうしへんけい平行四辺形といいます。

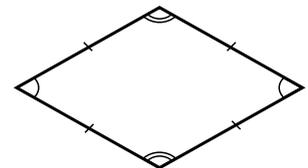
2. 平行四辺形の、向かい合った辺の長さは等しくなっています。また、向かい合った角の大きさも等しくなっています。



3. 辺の長さがみんな等しい四角形を、がたひし形といいます。

4. ひし形の向かい合った辺は平行になっています。

また、向かい合った角の大きさは等しくなっています。



5. 四角形の向かい合った頂点をつないだ線を、たいかくせん対角線といいます。

●例題● ひし形を対角線で2つに切り分けるとどんな三角形ができますか。

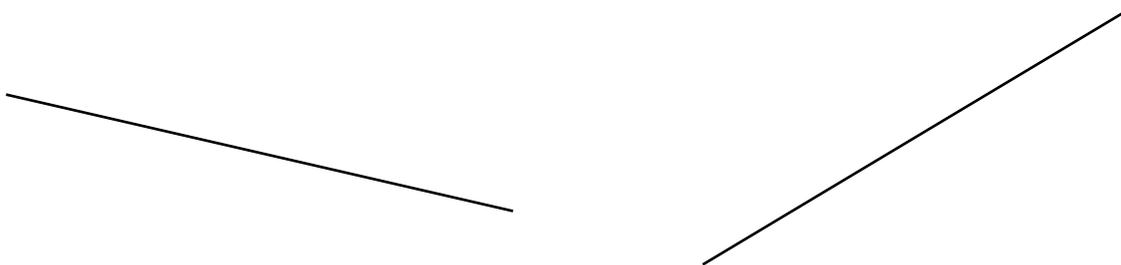
(とき方) ひし形の4つの辺の長さは から、2つに分けた三角形のそれぞれの2つの辺の長さは等しい。2つの辺の長さが等しい三角形は です。

7 垂直、平行と四角形	年 組 番	10 問
	氏名	

① 三角じょうぎを使って、(1)の直線に平行な直線を2本と、(2)の直線に垂直な直線を2本ひきましよう。

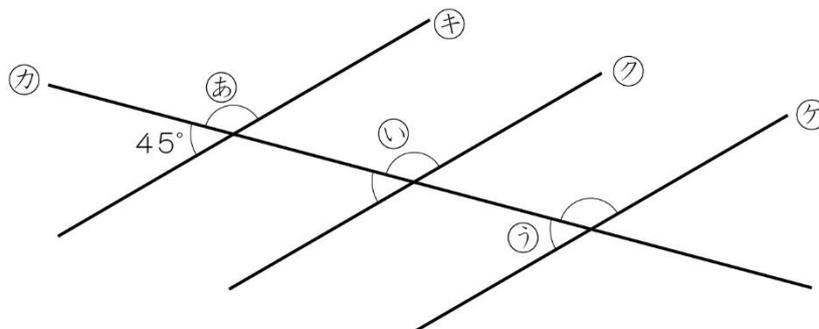
(1)

(2)



② ㊦, ㊧, ㊨の直線はみんな平行です。

㊩, ㊪, ㊫の角度は、それぞれ何度ですか。

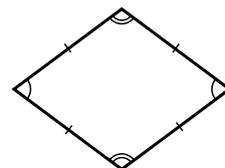
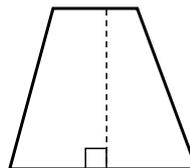
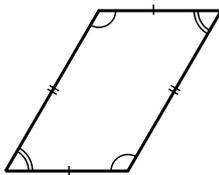
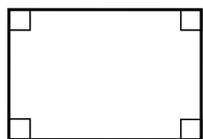
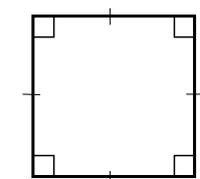


㊩

㊪

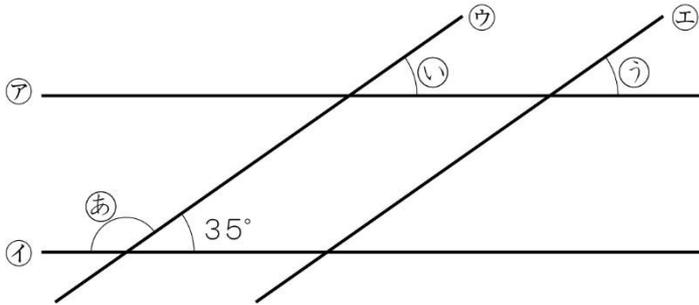
㊫

③ 次の四角形の名前を書きましよう。



7 垂直、平行と四角形	年 組 番	7 問
	氏名	

- ① ㉗と㉘, ㉙と㉚の直線は, それぞれ平行です。
 ㉛, ㉜, ㉝の角度は, それぞれ何度ですか。



㉛

㉜

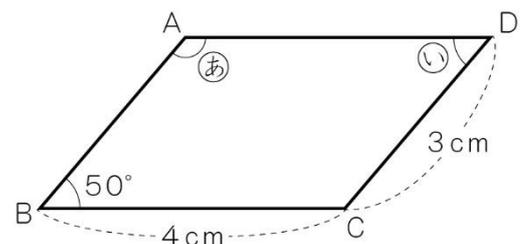
㉝

- ② 次の表のそれぞれの四角形について, ①~⑤の特ちょうがいつでもあてはまるものに○を書きましょう。(完答)

四角形 四角形の特ちょう	正方形	長方形	平行四辺形 <small>へいこうしへんけい</small>	台形 <small>だいけい</small>	ひし形 <small>がた</small>
① 向かい合った2組の辺が平行					
② 2本の対角線 <small>たいかくせん</small> が直角に交わる					
③ 2本の対角線の長さが等しい					
④ 4つの角がすべて直角					
⑤ 4つの辺の長さが等しい					

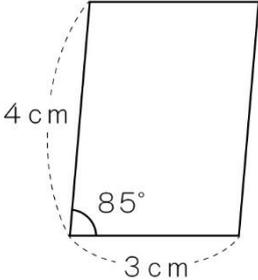
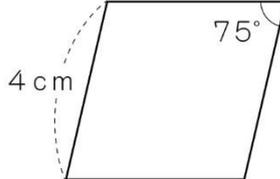
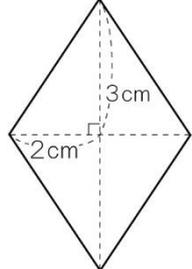
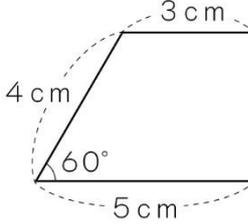
- ③ 右の図の平行四辺形について, □にあてはまる数を書きましょう。

- (1) 辺ABの長さは cmです。
- (2) ㉞の角度は °です。
- (3) ㉟の角度は °です。

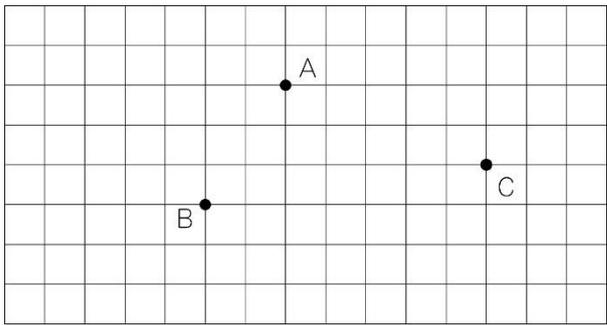


<h1>7 垂直、平行と四角形</h1>	年 組 番	7 問
	氏名	

1. 下の図に表した四角形を，それぞれ実物大で書きましょう。

<p>(1) 平行四辺形</p> 	<p>(2) ひし形 <small>がた</small></p> 
<p>(3) ひし形</p> 	<p>(4) 台形 <small>たいけい</small></p> 

2. 右の図に，3つの点A，B，Cを頂点とする平行四辺形を3つかき入れましょう。



8	式と計算	年 組 番	
		氏名	

計算のじゆんじよ

ふつうは左からじゆん順に計算します。

1. () のある式では, () の中をひとまとまりとみて, 先に計算します。

$$600 - (130 + 270) = 600 - 400 = 200$$

2. 式の中のかけ算やわり算は, たし算やひき算より先に計算します。

$$7 - 8 \div 4 + 2 \times 3 = 7 - 2 + 6 = 11$$

計算のきまり

1. () を使った式の計算のきまりには, 次のようなものがあります。

$$(\blacksquare + \bullet) \times \blacktriangle = \blacksquare \times \blacktriangle + \bullet \times \blacktriangle$$

$$(100 + 7) \times 8 = 100 \times 8 + 7 \times 8$$

$$(\blacksquare - \bullet) \times \blacktriangle = \blacksquare \times \blacktriangle - \bullet \times \blacktriangle$$

$$(129 - 9) \times 8 = 129 \times 8 - 9 \times 8$$

2. 計算のきまりを使って, くふうして計算することができます。

㊦ $\blacksquare + \bullet = \bullet + \blacksquare$ $6 + 8 = 8 + 6$

㊧ $(\blacksquare + \bullet) + \blacktriangle = \blacksquare + (\bullet + \blacktriangle)$ $(27 + 39) + 11 = 27 + (39 + 11)$

㊨ $\blacksquare \times \bullet = \bullet \times \blacksquare$ $8 \times 15 = 15 \times 8$

㊩ $(\blacksquare \times \bullet) \times \blacktriangle = \blacksquare \times (\bullet \times \blacktriangle)$ $(26 \times 25) \times 4 = 26 \times (25 \times 4)$

3. (1) かけ算では, かける数が10倍になると, 積も10倍になります。

$$4 \times 5 = 20 \quad \rightarrow \quad 4 \times 50 = 200$$

- (2) また, かけられる数とかける数をそれぞれ10倍すると, 積は100倍になります。

$$4 \times 5 = 20 \quad \rightarrow \quad 40 \times 50 = 2000$$

●例題● $4 \times 67 \times 25$, 8×99 をそれぞれくふうして計算しましょう。

(とき方) $4 \times 67 \times 25 = 67 \times \square \times \square = 67 \times \square = \square$

$$8 \times (\square - \square) = \square - \square = \square$$

8 式と計算	年 組 番	16 問
	氏名	

① じゅんじょを考えながら計算しましょう。

(1) $20 - 9 \div 3 \times 4 =$

(2) $9 \times (8 - 4 \div 2) =$

② □にあてはまる数を書きましょう。

(1) $(10 + 8) \times 4 = 10 \times$ $+ 8 \times$

(2) $($ $-$ $) \div$ $= 8 \div 2 - 4 \div 2$

(3) $109 \times 5 = ($ $+$ $) \times 5$
 $= 100 \times$ $+$ $\times 5$

③ 計算をしましょう。

(1) $480 + (580 - 320)$

(2) $20 \times (86 - 36)$

(3) $270 \div (16 + 14)$

(4) $4 \times 6 - 21 \div 3$

(5) $17 - 3 \times (1 + 4)$

8	式と計算	年 組 番	8 問
		氏名	

① 計算をしましょう。

(1) $360 \div (56 + 34)$

(2) $81 - 28 \div 7 \times 4$

(3) $50 \times (54 - 12) \div 2$

(4) $(50 - 44) \times 8 \div 2$

② くふうして計算をしましょう。

(1) $8 \times 94 \times 125$

(2) 6×99

③ 式に表しましょう。

(1) 140円のチーズバーガーと100円のポテトを1こずつ買って500円出したら、おつりは260円でした。

(2) 120円のノート1きつと1ダース480円のえんぴつを半ダース買ったなら、代金は360円でした。

8 式と計算	年 組 番	8 問
	氏名	

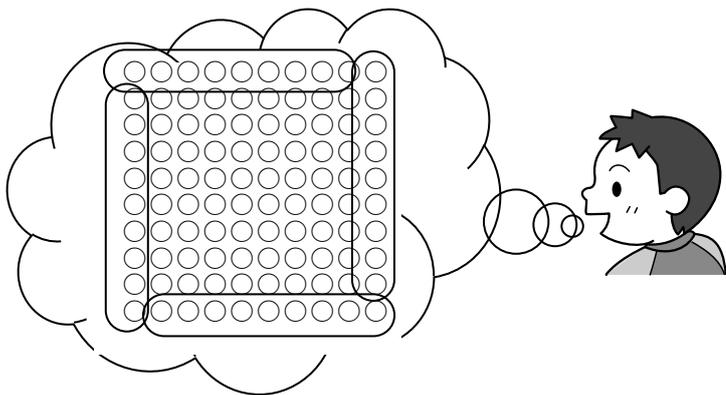
1. 答えの数になるように、□の中に+，-，×，÷の記号を入れましょう。

(1) $7+6$ □ $3 \times 2=43$ (2) 7×6 □ $3 \times 2=36$

(3) $7-6 \div 3$ □ $2=6$ (4) $7-(6$ □ $3-2)=0$

2. ご石を、1つの辺が10この正方形になるようにならべました。

(1) 外側のまわりのご石の数を、きよしくんとあきこさんは次のように考えて計算しました。□にあてはまる数を書きましょう。



まわりのご石を左の図のようにまとめて考えました。

式は、

$(\square - 1) \times \square = \square$ こ
です。 (完答)

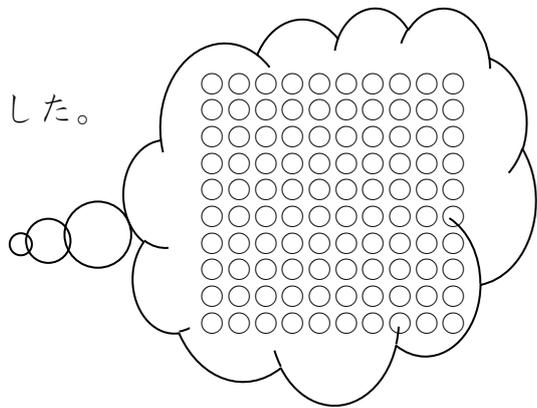
わたしはきよしくんとは別のまとめ方で考えました。

だから式は、

$10 \times \square - \square = \square$ こ
です。 (完答)



あきこさんの考え方を右の図にかいてみましょう。



(2) たて、横を1列ずつ増やして正方形をつくるには、ご石があと何こいるか、次のように計算して求めることができます。

① □ × 2 + □ = □ (こ) (完答)

② □ × 2 - □ = □ (こ) (完答)

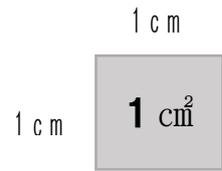
9 面積	年 組 番	
	氏名	

広さの表し方

広さのことを**面積**といいます。

面積は、1辺が1cmの正方形が何こならぶかで表すことができます。

1辺が1cmの正方形の面積を**1平方センチメートル**といい 1cm^2 と書きます。

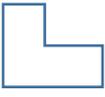


長方形と正方形の面積

1. 長方形や正方形の面積の**公式**は次のとおりです。

$$\text{長方形の面積} = \text{たて} \times \text{横} = \text{横} \times \text{たて}$$

$$\text{正方形の面積} = 1 \text{ 辺} \times 1 \text{ 辺}$$

2. のような形の面積も、長方形や正方形の形をもとにして考えれば求めることができます。

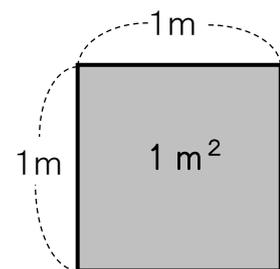
●例題● たて8cm，横9cmの長方形の面積を求めましょう。

(とき方) 公式にあてはめて計算します。 × = 答え cm^2

大きな面積の単位

1. 教室のように広いところの面積を表すには、1辺が1mの正方形の面積を単位にします。

1辺が1mの正方形の面積を**1平方メートル**といい、 1m^2 と書きます。



2. 100m^2 の面積を**1アール**といい、 1a と書きます。

1辺が10mの正方形の面積は 1a です。

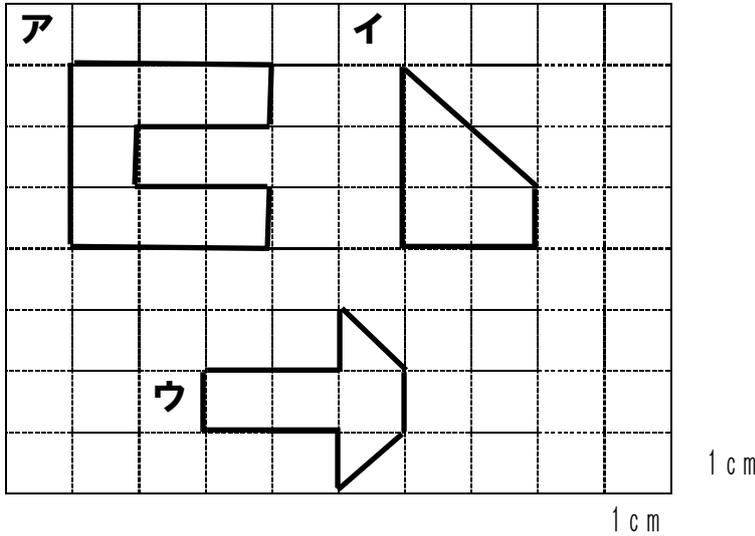
3. 10000m^2 の面積を**1ヘクタール**といい、 1ha と書きます。

4. 県や町などのような広いところの面積を表すには、1辺が1kmの正方形の面積を単位とします。1辺が1kmの正方形の面積を**1平方キロメートル**といい、 1km^2 と書きます。

$1\text{km}^2 = 1000000\text{m}^2$ です。

9	面積	年 組 番	10 問
		氏名	

① 次の形の面積は何 cm^2 でしょう。



ア

イ

ウ

② 次の面積を () の中の単位で求めましょう。

(1) たてが30cm, 横が45cmの長方形の紙の面積 (cm^2)

(2) たてが25m, 横が18mの長方形の土地の面積 (m^2)

(3) 1辺が300mの正方形の土地の面積 (ha)

③ 次の□にあてはまる数を書きましょう。

(1) $1\text{m}^2 =$ cm^2

(2) $1\text{km}^2 =$ m^2

(3) $1\text{ha} =$ a

(4) $1\text{a} =$ m^2

9	面積	年 組 番	11問
		氏名	

① □にあてはまる面積の単位や数を書きましょう。

(1) 1辺が1cmの正方形の面積は1 です。

また、1辺が1mの正方形の面積は1 です。

(2) 1辺が1mの正方形の面積は、1辺が1cmの正方形の面積の 倍です。

(3) 1辺が1kmの正方形の面積は1 で、1辺が1mの正方形の面積の 倍です。

② □にあてはまる数を書きましょう。

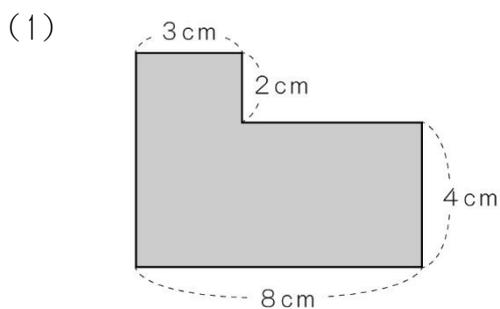
(1) たてが6cm，横が8cmの長方形の面積は cm^2 です。

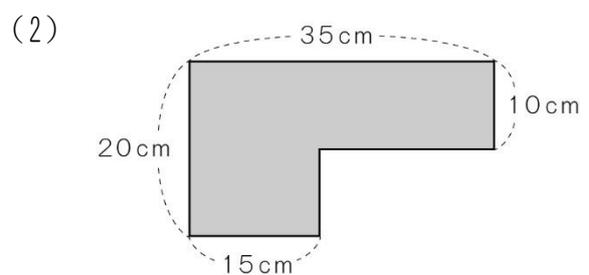
(2) 1辺が7cmの正方形の面積は cm^2 です。

(3) たてが20m，横が40mの長方形の面積は m^2 です。

(4) たてが6km，横が9kmの長方形の面積は km^2 です。

③ 下の形の面積を求めましょう。

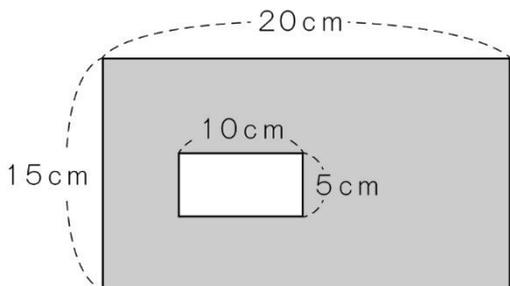




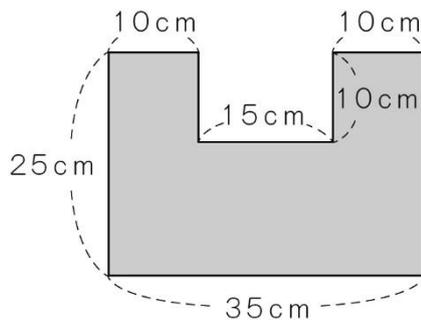
9	面積	年 組 番	4 問
		氏名	

1. 次の面積を求めましょう。

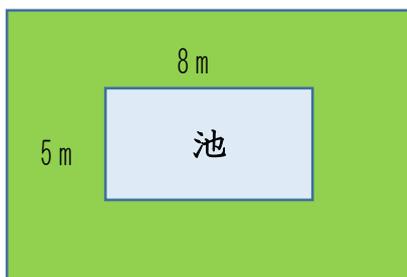
(1)



(2)



2. 池のまわりに、はば3 mのしばふを植えます。しばふの面積を求めましょう。



池はたて5 m
横8 mです。

3. 長さが50 cmのはり金をおりまげて、たての長さが8 cmの長方形をつくります。
この長方形の面積は、何cm²になるでしょう。

10 整理のしかた	年 組 番	
	氏名	

学年	けがの しゅるい 種類	場所	けがをし た 時間
4	ねんざ	校庭	ほうかご 放課後
3	切りきず	教室	昼休み
2	打ぼく	ろう下	昼休み
6	すりきず	校庭	じゅ業中
5	打ぼく	体育館	放課後
3	切りきず	校庭	昼休み
4	すりきず	教室	昼休み
2	すりきず	校庭	放課後
1	切りきず	教室	昼休み
3	すりきず	体育館	じゅ業中
1	すりきず	体育館	休み時間
4	切りきず	校庭	放課後
6	すりきず	ろう下	休み時間
6	すりきず	ろう下	昼休み
4	打ぼく	校庭	昼休み
5	切りきず	ろう下	休み時間
1	すりきず	教室	休み時間
2	打ぼく	校庭	放課後
1	ねんざ	校庭	昼休み
4	すりきず	校庭	放課後
3	すりきず	体育館	休み時間
5	打ぼく	体育館	じゅ業中
6	すりきず	体育館	昼休み
4	すりきず	教室	休み時間
2	ねんざ	体育館	じゅ業中

左の表はなおきさんの学校で、10月にどんな場所でどんなけがをしたかを調べたものです。

下のような表にまとめると、そのようすが見やすくなります。

場所 種類	校庭	体育館	教室	ろう下	合計
すりきず	3	4	3	2	12
打ぼく	2	2	0	1	5
切りきず	2	0	2	1	5
ねんざ	2	1	0	0	3
合 計	9	7	5	4	25



●例題● 上の表で、ろう下でけがをした人は何人ですか。また、ねんざをした人は何人ですか。

(とき方) 上の右の表を見ます。ろう下でけがをした人は 人、ねんざをした人は 人であることがわかります。

10 整理のしかた	年 組 番	10 問
	氏名	

① 次のけが調べの表を見て答えましょう。

場所 種類	校庭	体育館	教室	ろう下	合計
すりきず	4	3	1	3	ア
打ぼく	1	3	0	1	5
切りきず	2	0	2	1	5
ねんざ	0	2	0	0	2
合 計	イ	ウ	3	5	エ

(1) ろう下で打ぼくをした人は何人でしょう。

(2) 教室でけがをした人は何人でしょう。

(3) どこでどんなけがをした人が、いちばん多いでしょう。

(4) ア, イ, ウ, エにあてはまる数を書きましょう。

ア イ ウ エ

(5) どのけががいちばん多いでしょう。

(6) どの場所でのけががいちばん多いでしょう。

(7) けがをした人は、全部で何人でしょう。

10	整理のしかた	年 組 番	7 問
		氏名	

① 右の表は、三角形と四角形の色板を、色と形で分けたものです。

		形		
		三角形	四角形	
色	赤	18	8	(まい)
	白	5	13	

(1) 赤の四角形の色板は何まいあるでしょう。

(2) 三角形の色板はぜんぶで何まいあるでしょう。

(3) 色板はぜんぶで何まいあるでしょう。

(人)

② 右の表は、ゆみさんの学級で金魚と小鳥を家で持っているかどうかを調べたものです。ゆみさんの学級はぜんぶで30人です。

		金魚		
		かっている	かっていない	
小鳥	かっている	3	6	
	かっていない	9	ア	

(1) 金魚をかっている人は何人でしょう。

(2) 金魚も小鳥もかっている人は何人でしょう。

(3) 小鳥をかっている金魚はかっていない人は何人いるでしょう。

(4) 表のアにあてはまる数を答えましょう。

10 整理のしかた	年 組 番	7 問
	氏名	

1. 次の表は、おとなと子どもで、野球とサッカーのどちらがすきかを調べたものです。ア、イ、ウにあてはまる数を書きましょう。

	野球	サッカー	合計
おとな	5	ア	8
子ども	イ	ウ	8
合計	9	7	16

ア

イ

ウ

2. 次の表は、みどりさんの組で、平泳ぎとクロールができるかできないかを調べたものです。

		クロール	
		できる	できない
平泳ぎ	できる	12	8
	できない	4	9

- (1) クロールができる人は何人いるでしょう。

- (2) 平泳ぎができて、クロールができない人は何人いるでしょう。

- (3) 両方ともできない人は何人いるでしょう。

- (4) みどりさんの組の人数は何人でしょう。

11 小数のしくみとたし算、ひき算	年 組 番	
	氏名	

数の表し方

- 0.1Lの $\frac{1}{10}$ を, 0.01Lと書き, 「れい点れい1リットル」と読みます。
- 0.01mの $\frac{1}{10}$ を, 0.001mと書き, 「れい点れいれい1メートル」と読みます。

小数のしくみ

- 小数も整数と同じように, 10倍, または $\frac{1}{10}$ ごとに位くらいをつくって表します。
- 小数も整数と同じように, 10倍すると, 位は1けたずつ上がります。また, $\frac{1}{10}$ にすると, 位は1けたずつ下がります。

4	.	6	3	5
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
一	小	1	1	1
の	数	10	100	1000
位	点	の	の	の
		位	位	位
		(小	(小	(小
		数	数	数
		第	第	第
		一	二	三
		位	位	位

●例題● 0.25を100倍, $\frac{1}{10}$ にした数はそれぞれいくつですか。

(とき方) 100倍すると, 位は2けた上がるから , $\frac{1}{10}$ にすると, 位は1けた下がるから

小数のたし算とひき算

1. 1.68+3.71の計算

- 位をそろえて書く。
- 整数のたし算と同じように計算する。
- 上の小数点にそろえて, 和の小数点をうつ。

①
$$\begin{array}{r} 1.68 \\ + 3.71 \\ \hline \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 1.68 \\ + 3.71 \\ \hline 5.39 \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 1.68 \\ + 3.71 \\ \hline 5.39 \end{array}$$

2. 4.37-3.59の計算

- 位をそろえて書く。
- 整数のひき算と同じように計算する。
- 上の小数点にそろえて, 差さの小数点をうつ。

①
$$\begin{array}{r} 4.37 \\ - 3.59 \\ \hline \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 4.37 \\ - 3.59 \\ \hline 0.78 \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 4.37 \\ - 3.59 \\ \hline 0.78 \end{array}$$

11	小数のしくみとたし算、ひき算	年 組 番	15問
		氏名	

① 次のそれぞれの数について、□にあてはまる数を書きましょう。

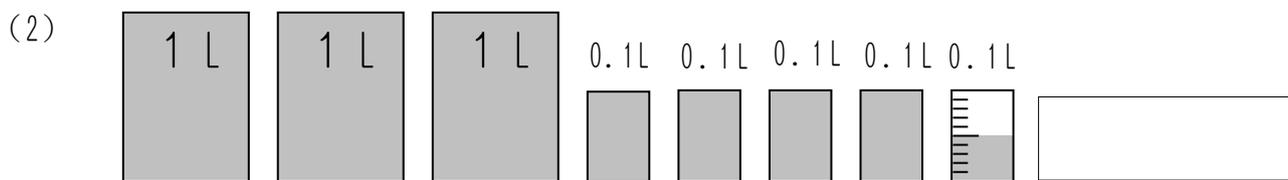
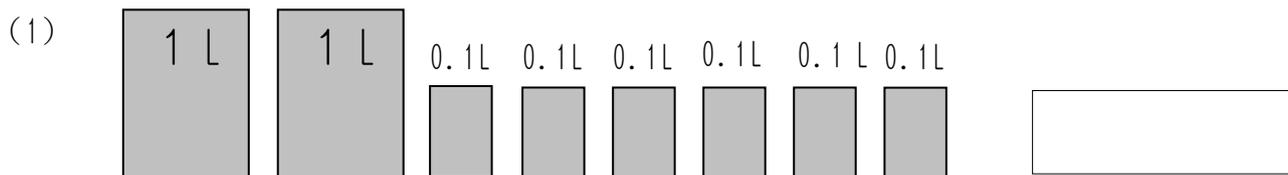
(1) 4.519

(2) 1.802

1が		こ	}	あわせて 4.519
0.1が		こ		
0.01が		こ		
0.001が		こ		

1が		こ	}	あわせて 1.802
0.1が		こ		
0.001が		こ		
		こ		

② 次の水のかさは、何Lでしょう。



③ 計算をしましょう。

(1)

$$\begin{array}{r} 1.97 \\ + 7.62 \\ \hline \end{array}$$

(2)

$$\begin{array}{r} 2.48 \\ + 5.93 \\ \hline \end{array}$$

(3)

$$\begin{array}{r} 0.723 \\ + 0.677 \\ \hline \end{array}$$

(4)

$$\begin{array}{r} 7.35 \\ - 2.82 \\ \hline \end{array}$$

(5)

$$\begin{array}{r} 7.75 \\ - 4.98 \\ \hline \end{array}$$

(6)

$$\begin{array}{r} 1.38 \\ - 0.935 \\ \hline \end{array}$$

11	小数のしくみとたし算、ひき算	年 組 番	16 問
		氏名	

① 0.01を何こ集めると、次の数になるでしょう。

- (1) 0.08 こ (2) 0.56 こ
- (3) 1.36 こ (4) 10.6 こ

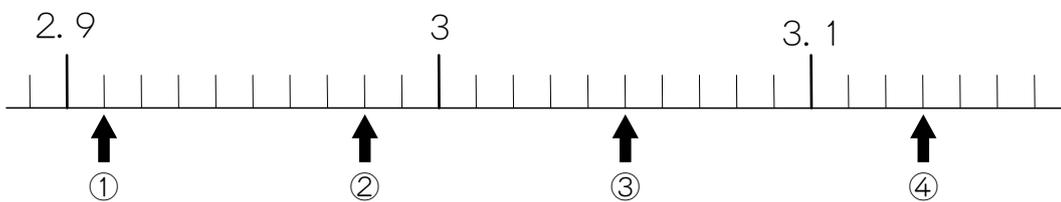
② 4.709について、□にあてはまる数を書きましょう。

- (1) $\frac{1}{10}$ の位の数字は、 です。
- (2) 4.7と をあわせた数です。
- (3) 0.001を こ集めた数です。

③ 次の大きさを、()の単位で表しましょう。

- (1) 6m24cm (m) (2) 4kg28g (kg)
- (3) 55m (km) (4) 3L4dL (L)

④ 次の数直線を見て答えましょう。



- (1) ひとめもりの大きさは、いくつでしょう。
- (2) ①～④の矢印が表す数を書きましょう。
- ① ② ③ ④

11	小数のしくみとたし算、ひき算	年 組 番	8 問
		氏名	

1. 筆算で計算しましょう。

(1) $3.18 + 5.52$

(2) $1.76 - 0.83$

(3) $1 - 0.099$

2. 計算しましょう。

(1) $6.58 + 12.3 - 10.05$

(2) $7 - 0.39 - 0.98$

3. $0.874 \div 3.8$ と同じ答えになる計算を2つずつ集めました。正しいものを①から⑤の中からすべて選びましょう。

① $8.74 \div 38$ $87.4 \div 38$ ② $8.74 \div 38$ $8.74 \div 380$

③ $87.4 \div 38$ $874 \div 380$ ④ $874 \div 38$ $874 \div 380$

⑤ $8.74 \div 38$ $87.4 \div 380$

4. 次の5まいのカードを使って、小数点以下3けたの数をつくります。一番大きい数と、一番小さい数を考え、□の中に数を入れましょう。

一番大きい数 (完答)

2	0	5	8	4
---	---	---	---	---

		.			
--	--	---	--	--	--

一番小さい数 (完答)

		.			
--	--	---	--	--	--

12 変わり方、くらべ方

年 組 番
氏名



変わり方調べ

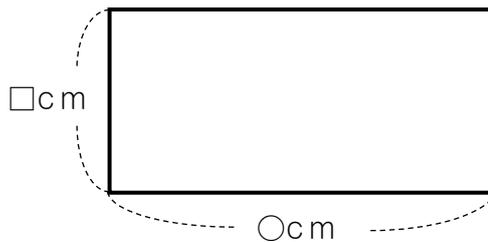
2つの数量の^{すうりょう}変わり方を調べるときは、表にまとめたり、式に表したりすると、^{かんけい}関係がわかりやすくなります。

1. 長さが24cmのはり金を^お折り曲げて、長方形を作るとき、たての長さ^{たて}と横の長さの関係を表にすると、次のようになります。

たての長さ(cm)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
横の長さ(cm)	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

また、たての長さ^{たて}と横の長さの関係を式に表すと、次のようになります。

たてを□cm、横を○cmとすると → $\square + \bigcirc = 12$



2. 次の表は80円切手を買うときの、まい数と代金の関係です。

買うまい数(まい)	1	2	3	4	5	6	7
代金(円)	80	160	240	320	400	480	560

また、買うまい数と代金の関係を式に表すと、次のようになります。

買うまい数を□まい、代金を○円とすると → $80 \times \square = \bigcirc$

●例題● 90円切手を買うときのまい数と代金の関係を表や式に表しましょう。

(とき方) 代金は、切手が1まいのとき $90 \times 1 = 90$ (円)、2まいのとき $90 \times 2 = 180$

買うまい数(まい)	1	2	3	4	5	6	7
代金(円)	90	180	270	360			

買うまい数を□まい、代金を○円とすると、 × □ =

12	変わり方、くらべ方	年 組 番	15 問
		氏名	

- ① 長さが12cmのはり金を折^おり曲げて、長方形を作ります。
- (1) たての長さ^{かんけい}と横の長さの関係を調べて、下の表に書きましょう。

たての長さ(cm)	1	2	3	4	5
横の長さ(cm)	5				1

- (2) たての長さを□cm、横の長さを○cmとして、たての長さ^{かんけい}と横の長さの関係を式に表しましょう。

答え

- ② 84円切手を買います。

- (1) 買うまい数と代金の関係を調べて、下の表に書きましょう。

買うまい数(まい)	1	2	3	4	5	6	7	
代金(円)								

- (2) 切手が1まい、2まい、……とふえると、代金はどのように^か変わっていきますか。

答え

- (3) 切手を10まい買ったときの代金は何円ですか。

式 答え 円

- (4) 買うまい数を□まい、代金を○円として、買うまい数と代金の関係を式に表しましょう。

答え

12 変わり方、くらべ方	年 組 番	16 問
	氏名	

① 正三角形の1辺の長さ^{べん}と、まわりの長さ^{かんけい}の関係を調べます。

(1) 正三角形の1辺の長さ^{べん}とまわりの長さ^{かんけい}の関係を調べて、下の表に書きましよう。

1辺の長さ(cm)	1	2	3	4	5	
まわりの長さ(cm)						

(2) 正三角形の辺の長さが1cmずつふえると、まわりの長さはどのように^か変わりますか。

答え

(3) まわりの長さは、1辺の長さの何倍になっていますか。

答え

(4) 1辺の長さを□cm, まわりの長さを○cmとして, □と○の関係を式に表しましょう。

答え

② 1こ40円のチョコレートを買います。

(1) 買うこ数と代金の関係を調べて、下の表に書きましよう。

買うこ数(こ)	1	2	3	4	5	6	7	
代金(円)								

(2) 買うこ数を□こ, 代金を○円として, 買うこ数と代金の関係を式に表ましよう。

答え

12 変わり方、くらべ方	年 組 番	12 問
	氏名	

1. たてが5cm，横が1cmの長方形があります。横の長さを2cm，3cm，4cm，……にのばすと，面積はどのように変わるか調べます。

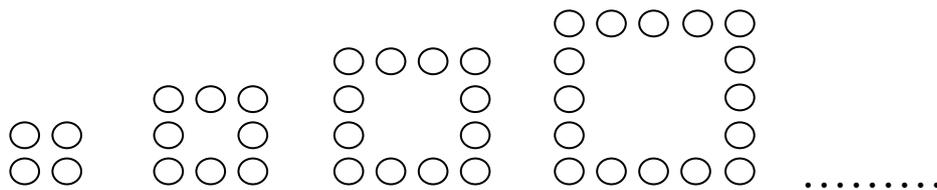
(1) 横の長さとお面積を，下の表にまとめましょう。

横の長さ(cm)	1	2	3	4	5	6
面積(cm ²)						

(2) 横の長さを□cm，面積を○cm²として，□と○の関係を式に表しましょう。

答え

2. ご石を下の図のように正方形の形にならべていきます。



(1) 1^{べん}辺にならべるとご石の数を2，3，4，……とならべていったとき，正方形のご石の数がどのように変わっていくか，下の表にまとめましょう。

1 ^{べん} 辺のご石の数(こ)	2	3	4	5	6	7
正方形のご石の数(こ)	4	8				

(2) 1^{べん}辺にならべるとご石の数が2，3，4，……と^か変わっていくとき，正方形の形にならぶご石の数はどのようにふえていきますか。

答え

(3) 正方形の形にならぶご石の数が24こになるのは，1^{べん}辺のご石の数が何このときですか。

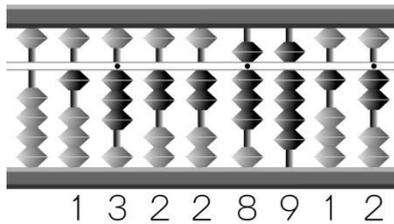
答え

説明しましょう。

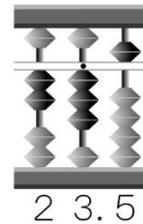
13 そろばん	年 組 番	
	氏名	

数の表し方

13228912 (人)
東京都の人口 (平成 24年 12月)



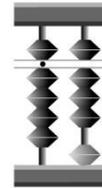
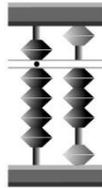
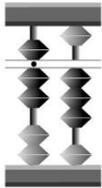
23.5mm
10円玉の直径



たし算とひき算

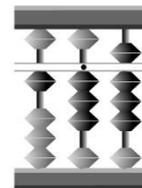
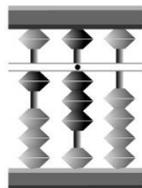
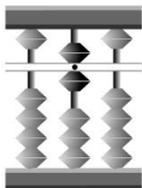
1. $7.3 + 2.5$

- ① 7.3を入れる。 ② 2.5の2をたす。 ③ 2.5の0.5をたす。



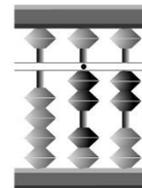
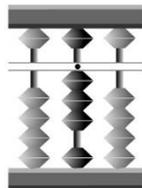
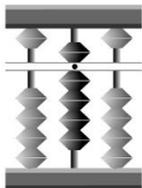
2. $6 + 7.8$

- ① 6を入れる。 ② 7.8の7をたす。 ③ 7.8の0.8をたす。



3. $9 - 6.8$

- ① 9を入れる。 ② 6.8の6をひく。 ③ 6.8の0.8をひく。



●例題● $2.1 + 4.7$, $6.8 - 3.6$ をそろばんで計算しましょう。

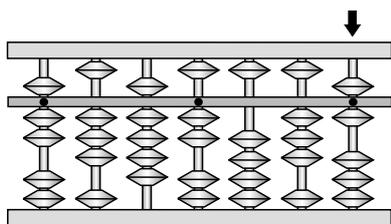
(とき方) 2.1 を入れる。 → 4.7 の をたす。 → 4.7 の をたす。

6.8 を入れる。 → 3.6 の をひく。 → 3.6 の をひく。

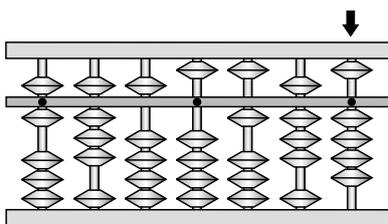
13	そろばん	年 組 番	13 問
		氏名	

① ↓の^{ていいてん}定位点が一の位^{くらい}のとき，そろばんが表している数を□に書きましよう。

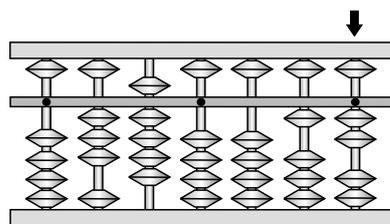
(1)



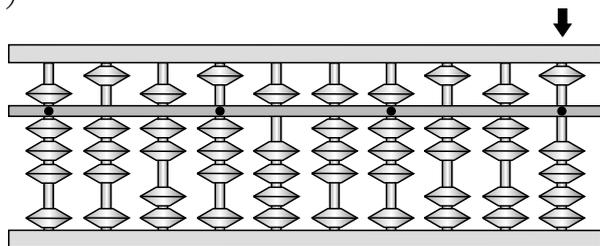
(2)



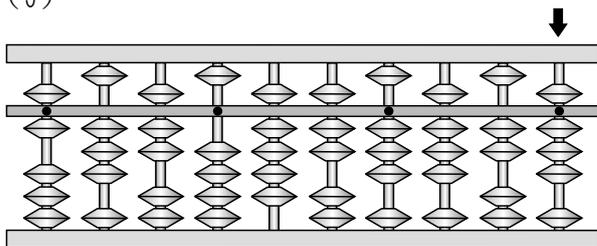
(3)



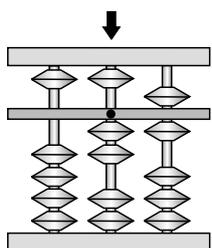
(4)



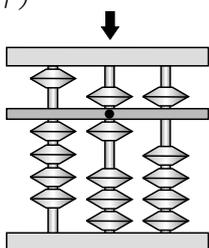
(5)



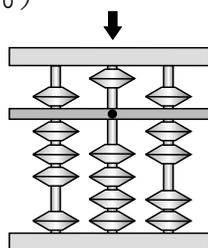
(6)



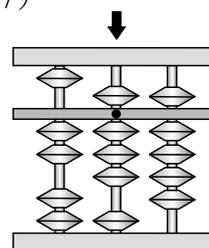
(7)



(8)



(9)



② そろばんで計算しましょう。

(1) $3.4 + 1.5$

(2) $6 + 0.6$

(3) $5.9 - 2.5$

(4) $8.5 - 7$

13 そろばん	年 組 番	20 問
	氏名	

① そろばんで計算しましょう。

(1) $2.5 + 1.4$

(2) $7.1 + 1.7$

(3) $6.3 + 3.4$

(4) $9 + 1.6$

(5) $9 + 6.4$

(6) $5 + 8.3$

(7) $5.3 + 9$

(8) $7.4 + 4$

(9) $6.6 + 8$

(10) $2.5 - 1.4$

(11) $7.5 - 2.5$

(12) $8.3 - 6.2$

(13) $7.5 - 2.1$

(14) $8 - 4.6$

(15) $9 - 8.5$

(16) $5 - 1.9$

(17) $6 - 3.2$

(18) $8 - 1.7$

(19) $1 - 0.3$

(20) $10 - 1.7$

13 そろばん	年 組 番	20 問
	氏名	

1. そろばんで計算しましょう。

(1) $9.5 + 0.4$

(2) $4.3 + 5.1$

(3) $5.3 + 3.3$

(4) $8 + 3.7$

(5) $9 + 9.3$

(6) $5 + 0.7$

(7) $8.9 + 4$

(8) $6.8 + 4$

(9) $7.6 + 8$

(10) $9.5 - 5.1$

(11) $6.3 - 2.2$

(12) $7.6 - 5.6$

(13) $8.9 - 8.3$

(14) $4.8 - 2.4$

(15) $8 - 3.4$

(16) $9 - 2.1 - 1.4$

(17) $5 - 2.8 - 1.2$

(18) $8.2 - 4.4 + 1.8$

(19) $1 - 0.3 + 2.5$

(20) $2.3 + 1.8 - 2.4$

14 小数と整数のかけ算、わり算

年 組 番
氏名



小数のかけ算

1. 2.7×6 の筆算のしかた

- ① 小数点を考えないで、右にそろえて書く。
- ② 整数のかけ算と同じように計算する。
- ③ かけられる数にそろえて、積の小数点をうつ。

$$\begin{array}{r} 2.7 \\ \times 6 \\ \hline 16.2 \end{array}$$

↓

$$\begin{array}{r} 2.7 \\ \times 6 \\ \hline 16.2 \end{array}$$

2. 2.46×75 の筆算のしかた

$$\begin{array}{r} 2.46 \\ \times 75 \\ \hline 1230 \\ 1722 \\ \hline 18450 \end{array} \quad \rightarrow \quad \begin{array}{r} 2.46 \\ \times 75 \\ \hline 1230 \\ 1722 \\ \hline 184.50 \end{array}$$

小数のわり算

1. $7.6 \div 3$ の筆算のしかた

- ① 一の位の7を3でわる。
- ② わられる数の小数点にそろえて、商の小数点をうつ。
- ③ $\frac{1}{10}$ の位の6をおろす。
- ④ 16を3でわる。

$$3 \overline{)7.6} \quad \rightarrow \quad 3 \overline{)7.6} \quad \rightarrow \quad 3 \overline{)7.6} \quad \rightarrow \quad 3 \overline{)7.6}$$

$$\begin{array}{r} 2 \\ \underline{6} \\ 1 \end{array} \quad \rightarrow \quad \begin{array}{r} 2. \\ \underline{6} \\ 1 \end{array} \quad \rightarrow \quad \begin{array}{r} 2.5 \\ \underline{6} \\ 16 \end{array} \quad \rightarrow \quad \begin{array}{r} 2.5 \\ \underline{6} \\ 16 \\ \underline{15} \\ 15 \\ \underline{15} \\ 0 \end{array}$$

2. 小数のわり算であまりを考えると、あまりの小数点は、上のよう
に、わられる数の小数点にそろえてうちます。

小数の倍

1. 5倍、2.5倍のように、何倍かを表すときにも小数を使うことがあります。
 3 m は 2 m の1.5倍 ← $3 \div 2 = 1.5$

●例題● 図かんのねだんは1500円で、ざっしのねだんは600円です。図かんのねだんはざっしのねだんの何倍ですか。

(とき方) ÷ =

答え 倍

14 小数と整数のかけ算、わり算	年 組 番	17 問
	氏名	

① 計算をしましょう。

(1) 0.6×3

(2) 0.4×7

(3) 0.7×5

(4) $4.8 \div 2$

(5) $3.6 \div 6$

(6) $5.6 \div 4$

(7) 1.2×3

(8) 10.5×2

(9) $9.3 \div 3$

② 計算をしましょう。

(1)
$$\begin{array}{r} 3.6 \\ \times 9 \\ \hline \end{array}$$

(2)
$$\begin{array}{r} 50.4 \\ \times 19 \\ \hline \end{array}$$

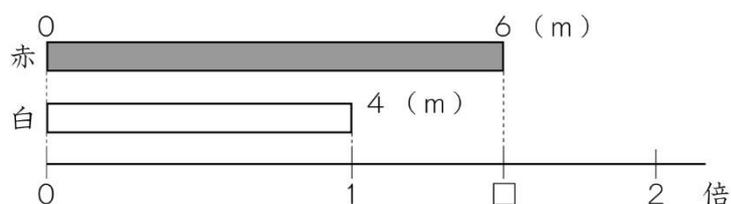
(3)
$$\begin{array}{r} 2.65 \\ \times 42 \\ \hline \end{array}$$

(4)
$$3 \overline{)5.7}$$

(5)
$$6 \overline{)8.52}$$

(6)
$$23 \overline{)16.1}$$

③ リボンが2本あります。赤のリボンは6 m、白のリボンは4 mあります。
白のリボンをもとにすると、赤のリボンの長さは何倍ですか。



(式)

答え

倍

14	小数と整数のかけ算、わり算	年 組 番	7 問
		氏名	

① かけ算の筆算をしましょう。

(1)

$$\begin{array}{r} 34.9 \\ \times \quad 5 \\ \hline \end{array}$$

(2)

$$\begin{array}{r} 53.6 \\ \times \quad 80 \\ \hline \end{array}$$

(3)

$$\begin{array}{r} 4.85 \\ \times \quad 6 \\ \hline \end{array}$$

② 商は一の位^{くらい}まで^{もと}求めて、あまりもだしましょう。

(1)

$$4 \overline{)75.5}$$

(2)

$$13 \overline{)46.9}$$

(3)

$$24 \overline{)75.8}$$

③ $0.874 \div 3.8$ と同じ答えになる計算を2つずつ集めました。2つの式が同じになる組み合わせを①から⑤の中から選びましょう。

- ① $8.74 \div 38$ $87.4 \div 38$
- ② $8.74 \div 38$ $8.74 \div 380$
- ③ $87.4 \div 38$ $874 \div 380$
- ④ $874 \div 38$ $874 \div 380$
- ⑤ $8.74 \div 38$ $87.4 \div 380$

14	小数と整数のかけ算、わり算	年 組 番	12 問
		氏名	

1. かけ算の筆算をしましょう。

(1)
$$\begin{array}{r} 13.5 \\ \times 26 \\ \hline \end{array}$$

(2)
$$\begin{array}{r} 8.25 \\ \times 6 \\ \hline \end{array}$$

(3)
$$\begin{array}{r} 8.28 \\ \times 43 \\ \hline \end{array}$$

2. 商は四捨五入して、上から2けたのがい数^{もと}で求めましょう。

(1)
$$6 \overline{)35.5}$$

(2)
$$53 \overline{)166}$$

(3)
$$17 \overline{)48.7}$$

3. 1.8 L 入りの水のペットボトルが32本あります。水は全部で何 L ありますか。

$$\begin{array}{r} \hline \text{(本)} \\ \text{(L)} \end{array}$$

(式)

答え

4. 6 L の重さが8.3 kg の油があります。この油 1 L の重さは何 kg ですか。

答えは四捨五入して、 $\frac{1}{10}$ の位^{くらい}までのがい数で求めましょう。

$$\begin{array}{r} \hline \text{(kg)} \\ \text{(L)} \end{array}$$

(式)

答え

5. メロン1このねだんは1960円、スイカ1このねだんは560円です。

メロンのねだんはスイカのねだんの何倍ですか。

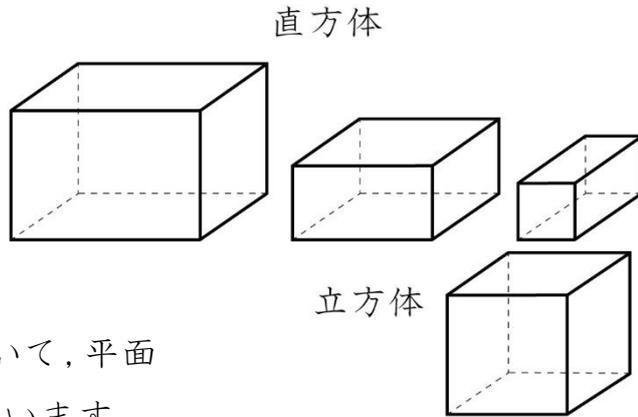
$$\begin{array}{r} \hline \text{(円)} \\ \text{(倍)} \end{array}$$

(式)

15 立体	年 組	
	氏名	

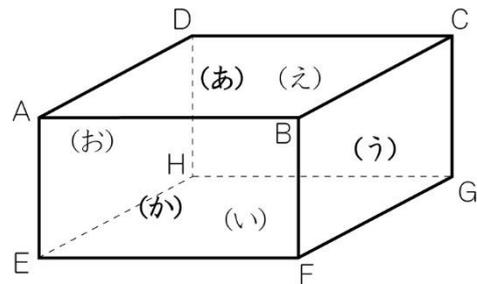
直方体と立方体

- 長方形^{かこ}だけで囲まれた形や、長方形と正方形で囲まれた形^{ちよくほうたい}を直方体とといいます。
- 正方形だけで囲まれた形^{りっぽうたい}を立方体とといいます。
- 直方体や立方体などを切り開いて、平面^{てんかいず}の上に広げた図を、展開図とといいます。



面や辺の垂直・平行

- 右の直方体について
 - となり合った面(い)と面(う)^{すいちよく}は垂直であるといえます。
 - 向かい合った面(あ)と面(い)は平行であるといえます。
 - 辺 AB と辺 AD は垂直になっています。
 - 辺 AB と辺 DC は平行になっています。
 - 辺 BF と面(い)は垂直であるといえます。
- 直方体や立方体などの全体の形がわかるようにかいた図^{みとりず}を見取図とといいます。



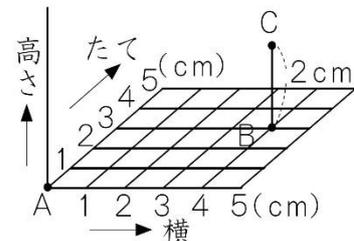
(あ), (う), (か) は見える面, (い), (え), (お) は見えない面

●例題● 上の直方体で、面(い)と垂直な辺はいくつありますか。

(とき方) 面(い)と垂直な辺は、辺 BF, 辺 辺 辺 の つあります

位置の表し方

- 平面上の点の位置は、2つの長さの組で表すことができます。点Aをもとにすると、点Bの位置は(横4cm, たて3cm)と表すことができます。
- 空間にある点の位置は、3つの長さの組で表すことができます。点Aをもとにすると、点Cの位置は(横4cm, たて3cm, 高さ2cm)と表すことができます。

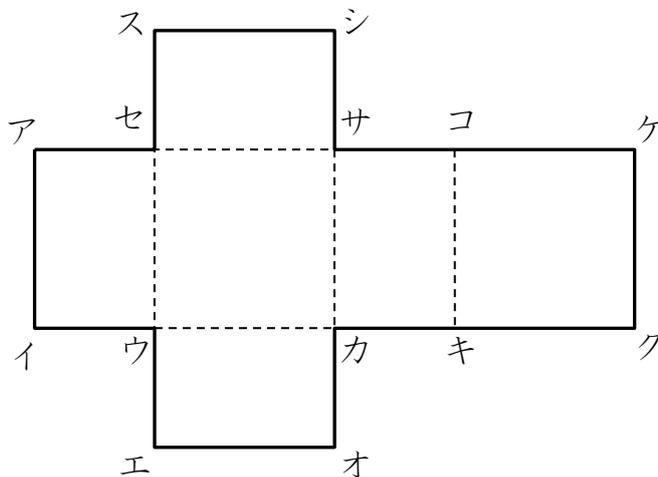


15 立体	年 組 番	6 問
	氏名	

① 下の直方体の展開図を組み立てます。

(1) ケの点と重なる点は、どれと
どれでしょう。

点 と点



(2) 辺キクと重なる辺はどれですか。

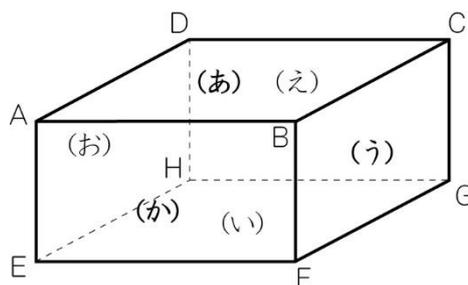
答え

② 右の直方体について答えましょう。

* (い), (え), (お) は、見えない面

(1) 面(お)に平行な面はどれでしょう。

答え



(2) 面(う)に垂直な面はどれですか。すべて書きましょう。

答え



垂直な面ということは、直角になっている面だな。全部でいくつあるかな。

平行な面ということは、向かい合っている面ね。



(3) 辺ADに平行な辺はどれですか。すべて書きましょう。

答え

15 立体	年 組 番	7 問
	氏名	

① □にあてはまることばや数を書きましょう。

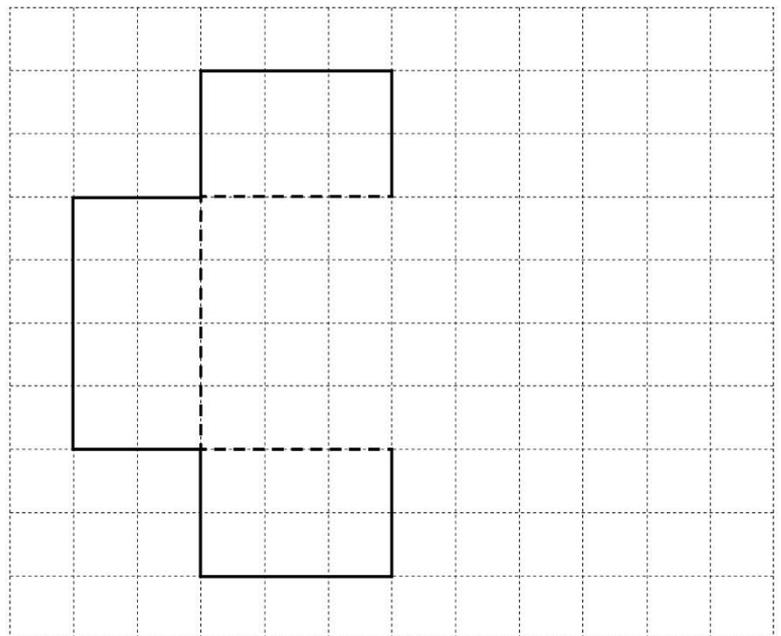
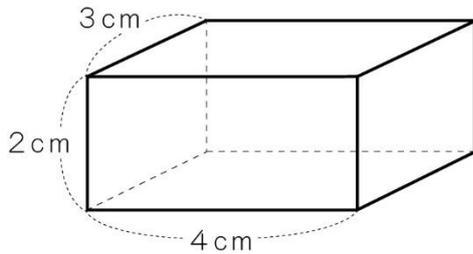
(1) 正方形だけでかこ囲まれた形を といいます。

(2) 長方形だけで囲まれた形や、長方形と正方形で囲まれた形を といいます。

(3) ちよくほうたい 直方体も りっほうたい 立方体も、まわりが平らな面で囲まれています。この平らな面のことを といいます。

(4) 直方体も立方体も、面の数は , へん 辺の数は ,
ちやうてん 頂点の数は です。

② 下の直方体の展開図の続きをかきましょう。

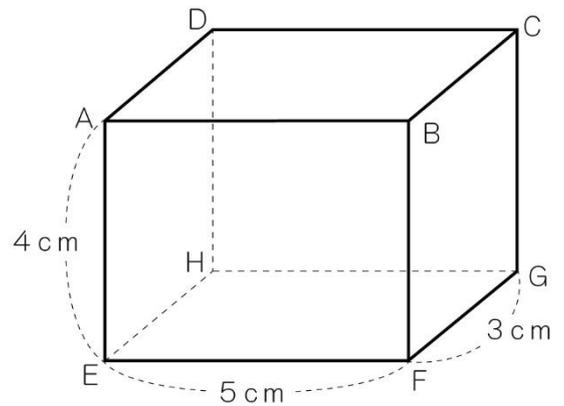


* 1めもりは1cmとします。

15 立体	年 組 番	14 問
	氏名	

1. 右の直方体ちよくほうたいについて答えましょう。

(1) 辺ABに垂直な辺はどれですか。すべて書きましょう。



(2) 辺AEに垂直な面はどれですか。すべて書きましょう。

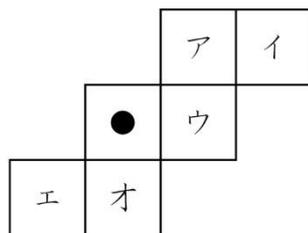
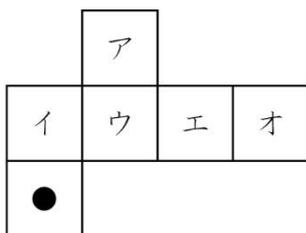
(3) 頂点Eをもとにして、頂点D, C, Gの位置いちをそれぞれ表しましょう。

C(横 cm, たて cm, 高さ cm)

D(横 cm, たて cm, 高さ cm)

G(横 cm, たて cm, 高さ cm)

2. さいころは、向かい合った面の目の数の和が7になります。下の図はさいころの展開図で、1の目の●だけがかいてあります。6の目をかく面はア～オのそれぞれどれですか。また、自分でさいころの展開図をかいて、1の目と6の目をかいてみましょう。



自分でかいてみよう。

16 分数の大きさとたし算、ひき算	年 組 番	
	氏名	

分数の表し方

1. $\frac{1}{6}$ や $\frac{3}{5}$ のように、分子が分母より小さい分数を^{しんぶんすう}真分数といいます。
 $\frac{3}{3}$ や $\frac{7}{3}$ のように、分子と分母が同じか、分子が分母より大きい分数を^{かぶんすう}仮分数といいます。

2. 1 m と $\frac{3}{4}$ m をあわせた長さを $1\frac{3}{4}$ m と書き、「^{いち よんぶん さん}一と四分の三メートル」と読みます。

$1\frac{3}{4}$ m のように、整数と真分数の和で表されている分数を^{たいぶんすう}帯分数といいます。

大きさの等しい分数

$\frac{1}{3}$, $\frac{2}{6}$, $\frac{3}{9}$ のように、表し方がちがっても、大きさの等しい分数はたくさんあります。

●例題● $2\frac{3}{4}$ と $\frac{13}{4}$ の大小を^{ふとうごう}不等号を使って表しましょう。

(とき方) $2\frac{3}{4}$ を仮分数で表すと、 ですから、 $2\frac{3}{4}$ $\frac{13}{4}$

分数のたし算とひき算

1. $\frac{1}{5} + \frac{2}{5}$, $\frac{4}{5} - \frac{2}{5}$ は、 $\frac{1}{5}$ をもとにすると、それぞれ $1 + 2$, $4 - 2$ とみることができるので、分子だけ計算します。

$$\frac{1}{5} + \frac{2}{5} = \frac{3}{5}, \quad \frac{4}{5} - \frac{2}{5} = \frac{2}{5}$$

2. 帯分数のたし算は、整数部分と分数部分に分けて計算するか、帯分数を仮分数になおして計算します。
 3. 帯分数のひき算で、分数部分がひけないときには、帯分数の分数部分を仮分数にして計算するか、帯分数を仮分数になおして計算します。

$$2\frac{1}{5} - \frac{2}{5} = 1\frac{6}{5} - \frac{2}{5} = 1\frac{4}{5} \quad 2\frac{1}{5} - \frac{2}{5} = \frac{11}{5} - \frac{2}{5} = \frac{9}{5}$$

16 分数の大きさとたし算、ひき算	年 組 番	24 問
	氏名	

① 次の仮分数を、帯分数か整数になおしましょう。

(1) $\frac{3}{2}$ (2) $\frac{7}{4}$ (3) $\frac{18}{6}$ (4) $\frac{30}{7}$

② 次の帯分数を、仮分数になおしましょう。

(1) $1\frac{2}{3}$ (2) $3\frac{1}{7}$ (3) $2\frac{3}{5}$ (4) $4\frac{1}{4}$

③ □にあてはまる^{ふとうごう}不等号を書きましょう。

(1) $3\frac{1}{5}$ $\frac{14}{5}$ (2) $\frac{13}{3}$ $4\frac{2}{3}$ (3) $5\frac{5}{6}$ $\frac{33}{6}$

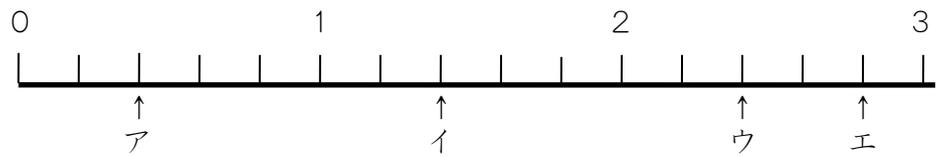
④ 計算をしましょう。

(1) $\frac{3}{5} + \frac{3}{5}$ (2) $\frac{3}{4} + \frac{10}{4}$ (3) $1\frac{2}{3} + \frac{1}{3}$

(4) $1\frac{3}{7} + 2\frac{6}{7}$ (5) $2 + 3\frac{2}{9}$ (6) $\frac{5}{6} - \frac{4}{6}$

(7) $\frac{10}{7} - \frac{4}{7}$ (8) $3\frac{3}{5} - \frac{4}{5}$ (9) $7\frac{3}{8} - 3\frac{3}{8}$

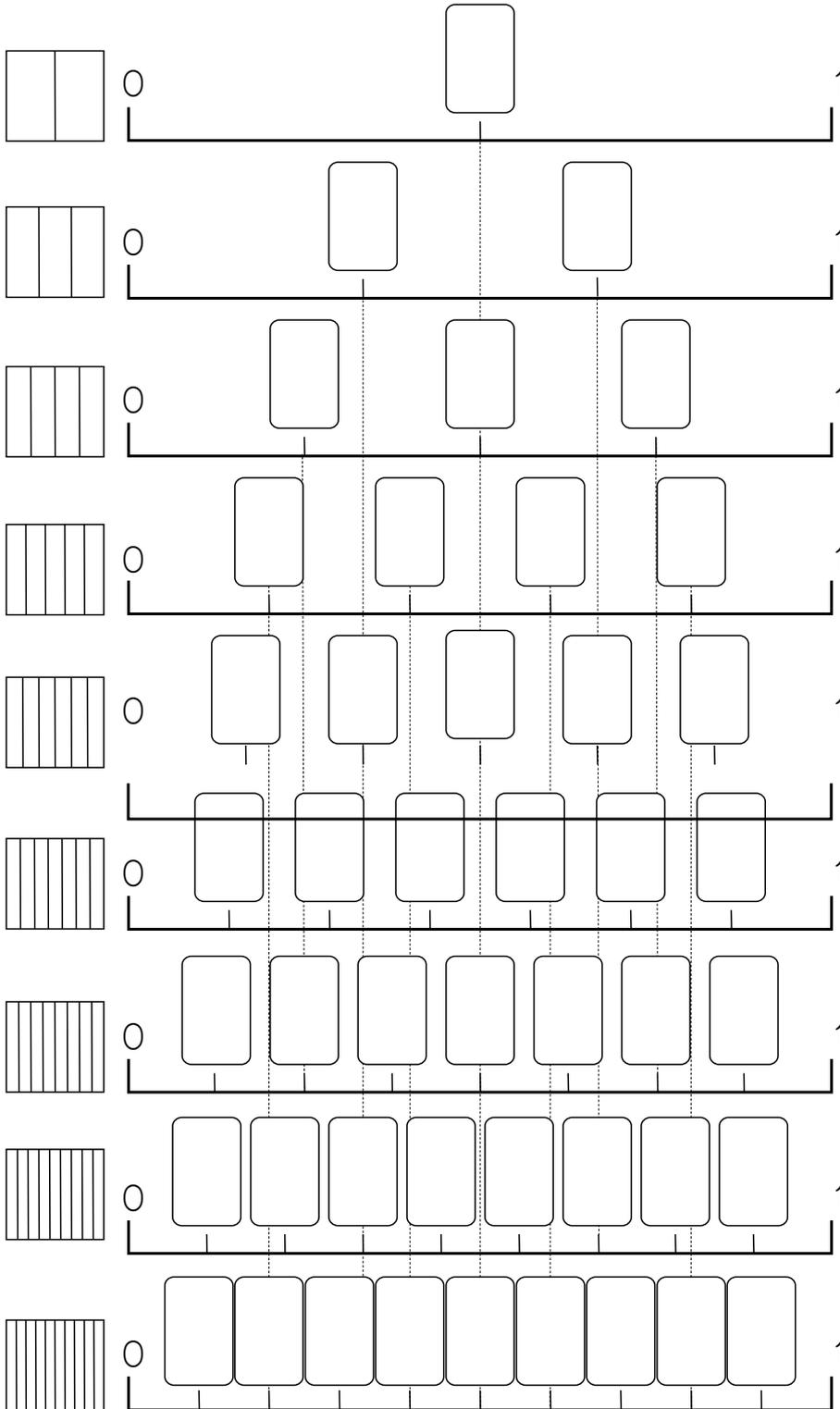
⑤ 下の数直線のア～エのめもりが表す分数はいくつですか。1より大きい分数は、仮分数で表しましょう。



ア イ ウ エ

16 分数の大きさとたし算、ひき算	年 組 番	53 問
	氏名	

① 下の図の数直線の□にあてはまる分数を書きましょう。また、(1)～(8)の□にあてはまる数を書きましょう。



(1) $\frac{1}{2} = \frac{\square}{6}$

(2) $\frac{2}{6} = \frac{\square}{3}$

(3) $\frac{2}{3} = \frac{6}{\square}$

(4) $\frac{1}{4} = \frac{2}{\square}$

(5) $\frac{3}{5} = \frac{6}{\square}$

(6) $\frac{2}{2} = \frac{\square}{7}$

(7) $1 = \frac{\square}{5}$

(8) $\frac{8}{8} = \frac{\square}{3}$

数字はちがっても、等しい大きさを表している分数があるんだね。



16 分数の大きさとたし算、ひき算	年 組 番	16 問
	氏名	

1. 計算をしましょう。

(1) $\frac{3}{4} + \frac{8}{4}$

(2) $\frac{7}{6} + \frac{8}{6}$

(3) $\frac{2}{3} + 2\frac{1}{3}$

(4) $3\frac{3}{9} + \frac{7}{9}$

(5) $1\frac{4}{6} + 2\frac{1}{6}$

(6) $4\frac{3}{7} + 1\frac{2}{7}$

(7) $\frac{12}{7} - \frac{9}{7}$

(8) $3\frac{3}{4} - \frac{2}{4}$

(9) $3\frac{3}{8} - \frac{6}{8}$

(10) $4\frac{5}{7} - \frac{6}{7}$

(11) $3\frac{7}{8} - 2\frac{2}{8}$

(12) $6\frac{4}{5} - 6\frac{1}{5}$

2. 水が大きい容器に $1\frac{2}{5}$ L, 小さい容器に $\frac{4}{5}$ L 入っています。水はあわせて何Lあるでしょう。

(式)

答え

3. リボンが $3\frac{7}{10}$ m あります。 $1\frac{8}{10}$ m 使いました。残りは何mあるでしょう。

(式)

答え

4 年 生

1 大きな数

スタート P1

<解答>

例題 325, 三百二十五億

ホップ P2

<解答>

- ① (1) 八千億五千八百万二千六百
(2) 九十兆三千三百九十九億
- ② (1) 196304500
(2) 96450035256000
- ③ (1) 800 億, 8 億
(2) 60 兆, 6000 億
- ④ (1) 416000 (2) 1026000
(3) 740000 (4) 52500

ステップ P3

<解答>

- ① (1) 500900000
(2) 6093000040000
- ② (1) 65000000000 (2) 678
(3) 100000 (4) 418
- ③ (1) 0
(2) 806832004100, 8068320041
- ④ 9876543201

<解説>

- ④ いちばん大きい整数は 9876543210 で、
2 番めに大きい整数は十の位と一の位
の数字を入れかえた 9876543201

ジャンプ P4

<解答>

1. ① 9800 万 ② 1 億 200 万
③ 7000 億 ④ 1 兆 3000 億

2. 説明 (例) 205×300 の計算の答えを
書く位をまちがえて 6150 になっている。
正しい計算は $205 \times 300 = 61500$ で、1230
の下に 61500 の「5」をそろえる。

正しい計算

$$\begin{array}{r} 205 \\ \times 306 \\ \hline 1230 \\ 615 \\ \hline 62730 \end{array}$$

3. ア 5 イ 9 ウ 4

説明 $302\square$ の \square は、答えの一の位が
0 なので、0 か 5 が入ります。5 の
ときだけ、答えの十の位の数が 5 に
なります。

$$\begin{array}{r} 3025 \\ \times 972 \\ \hline 6050 \\ 21175 \\ 27225 \\ \hline 2940300 \end{array}$$

4. (1) 102345678 (2) 501234678

<解説>

4. (1) 上の位から小さい数をならべます。
ただし、いちばん上の位の数を 0 に
することはできません。
- (2) 500000000 にいちばん近い数は
498765321 と 501234678 のどちらか
の数です。

$500000000 - 498765321 = 1234679$,
 $501234678 - 500000000 = 1234678$ で、
 $1234679 > 1234678$ ですから、501234678 が
500000000 にいちばん近い数です。

2 わり算の筆算

スタート P5

<解答>

例題 8, 4, 4 (倍)

ホップ P6

<解答>

- ① (1) 10 (2) 40 (3) 900
- ② (1) 16 (2) 25 あまり 1
(3) 7 あまり 4 (4) 190
(5) 63 (6) 104 あまり 3
- ③ (1) 2か6 (2) 1か4か7

ステップ P7

<解答>

- ① (1) 150, 3 (2) 15
(3) 5, 50 (4) 150, 3, 50
- ② 式 $720 \div 5 = 144$ 答え 144まい
- ③ 式 $420 \div 3 = 140$ 答え 1m40cm
- ④ 式 $112 \div 9 = 12$ あまり 4
答え 13日
- ⑤ 式 $42 \div 6 = 7$ 7m

<解説>

- ④ 12日では残りの4ページ分読めないため、あと1日をたします。

ジャンプ P8

<解答>

- 1. ア ウ
- 2. 説明

$32 \div 4$ の計算で、商の十の位を8にしています。 $32 \div 4 = 8$ だから、筆算の商の十の位は0になり、8は一の位に立てます。

正しい計算

$$\begin{array}{r} 208 \\ 4 \overline{) 832} \\ \underline{8} \\ 32 \\ \underline{32} \\ 0 \end{array}$$

- 3. (1) 式 $350 \div 5 = 70$
 $70 \times 20 = 1400$ 答え 1400円
- (2) 式 $20 \div 5 = 4$ $350 \times 4 = 1400$
答え 1400円

- 4. 式 $16 \times 3 = 48$ $48 \div 4 = 12$
答え 12本

3 折れ線グラフ

まとめ P9

<解答>

例題 3, 4, 14

ホップ P10

<解答>

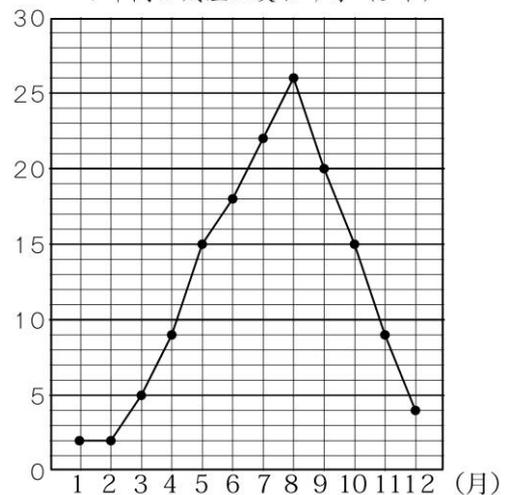
- ① ㉞, ㉟, ㊱
- ② (1) たてのじく…気温
横のじく…月
(2) 月…8月 気温…28度
(3) 6度

ステップ P11

<解答>

- ① (1)

(度) 1年間の気温の変わり方 (B市)



- (2) 4, 5
- (3) 8, 9 (10, 11 でもよい)

ジャンプ P12

<解答>

- 1. (1) 月…8月 気温…26度
- (2) 月…12月 こう水量…220mm
- (3) 1, 2

- (4) 24度
- (5) 140mm
- (6) 気温は8月まで高くなっていく。
8月から下がっていく・・・など
こう水量は、2月から6月ごろが
少ない。11月から1月までの間が多い。
・・・など

4 角

スタート P 1 3

<解答>

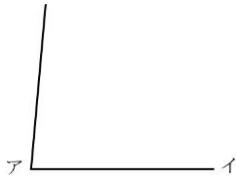
例題 135→135° , 75→75°

ホップ P 1 4

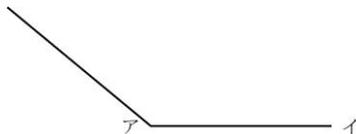
<解答>

- ① (1) 25° (2) 75° (3) 150°
(4) 190°

② (1)



(2)



- ③ ㉞ 135° ㉟ 45°

<解説>

- ② (1) 分度器の中心を点アに合わせ、
0° を辺アイに合わせます。
85° のめもりのところに点をうち、その点とアを通る直線をひきます。

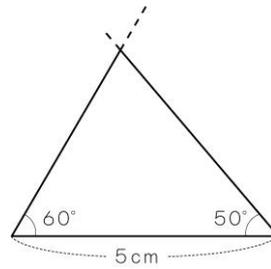
- ③ ㉞ 90+45=135
㉟ 90-45=45

ステップ P 1 5

<解答>

- ① (1) 1 (2) 2 (3) 3 (4) 4

②

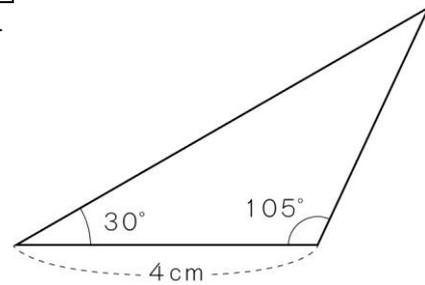


- ③ ㉞ 150° ㉟ 110°

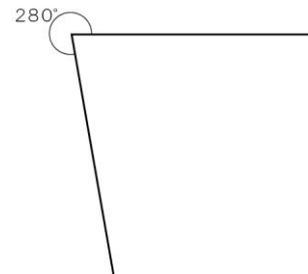
ジャンプ P 1 6

<解答>

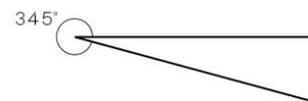
1.



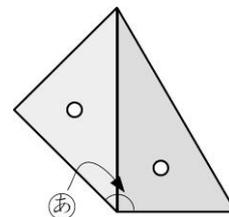
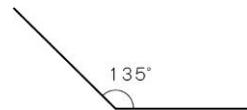
2. (1)



(2)



3.



説明

2まいの三角じょうぎの45°の角と90°の角を合わせた㉞の角が135°の角です。

5 2けたの数のわり算

スタート P17

<解答>

例題 5, 1, 1, 1, 5, 10

ホップ P18

<解答>

- ① (1) 3 (2) 9 (3) 6あまり20
② (1) 3あまり3 (2) 3あまり18
(3) 2あまり2 (4) 9あまり2
(5) 7あまり24
③ 0か1のどちらか

ステップ P19

<解答>

- ① (1) 5あまり4
けん算 $17 \times 5 + 4 = 89$
(2) 2あまり13
けん算 $34 \times 2 + 13 = 81$
② (1) 24あまり4 (2) 35あまり22
(3) 20あまり34 (4) 11あまり50
③ ㉞, ㉟
④ 式 $364 \div 26 = 14$ 答え 14人

<解説>

- ① けん算は、次の式で計算します。
わる数 \times 商+あまり=わられる数
③ わり算では、わられる数とわる数を同じ数でわっても商は変わりません。また、わられる数とわる数に同じ数をかけても商は変わりません。

ジャンプ P20

<解答>

1. (1) 2あまり7 (2) 7あまり16
(3) 7あまり11 (4) 9あまり11
(5) 20あまり25 (6) 9あまり50
2. 式 $702 \div 27 = 26$
答え 26倍

3. 理由 商が十の位に立たないとき、商は10より小さくなるので、□は0, 1, 2のとき。 答え 0, 1, 2

4. 考え方 ある数は $42 \times 18 + 21 = 777$
だから、 $777 \div 7 = 111$
答え 111

<解説>

4. わる数 \times 商+あまり=わられる数
を使って、ある数を求めます。

6 およその数(がい数)

スタート P21

<解答>

例題 千, 5, 760000

ホップ P22

<解答>

- ① 52554...52600, 53000
67143...67100, 67000
23052...23100, 23000
② (1) 740000 (2) 1350000
③ ㉞, ㉟
④ (1) およそ700 (2) およそ500
⑤ (1) およそ160000
(2) およそ300

<解説>

- ④ (1) $600 + 100 = 700$
(2) $900 - 400 = 500$
⑤ (1) $400 \times 400 = 160000$
(2) $6000 \div 20 = 300$

ステップ P23

<解答>

- ① ㉞, ㉟
② 一万, 千, あきこ
③ いちばん小さい数...115
いちばん大きい数...124

ジャンプ P 2 4

<解答>

1. (1) 34500, 35500 (2) 385, 395

2. (1) ○高く

理由 低く見積もると、じっさいの代金の合計が 1000 円をこえてしまうことがある。

(2) ○低く

理由 高く見積もると、じっさいの代金の合計が 1000 円をこえないことがある。

(3) 式 $300 + 300 + 200 = 800$

答え 約 800 円

(4) 式 $300 \times 3 = 900$

答え 約 900 円

<解説>

2. (3) キャベツ, 白菜はそれぞれ約 300 円, 里いもは約 200 円と考えます。

(4) 大根を約 300 円と考えます。

7 垂直、平行と四角形

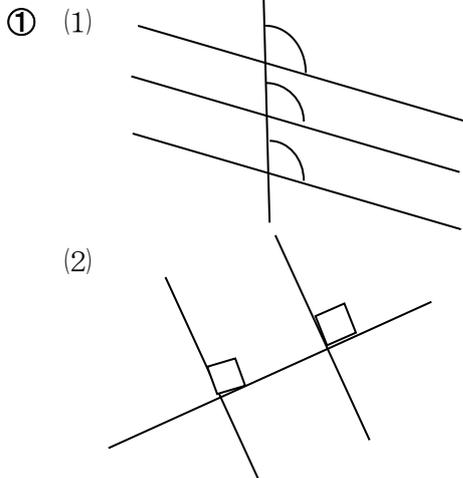
スタート P 2 5

<解答>

例題 等しい, 二等辺三角形

ホップ P 2 6

<解答>



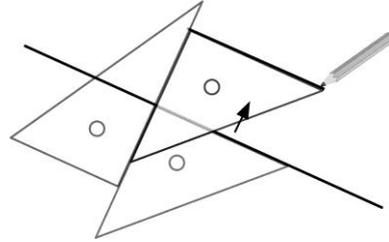
② ㉞ 135° ㉟ 135° ㊱ 45°

③ 左から,

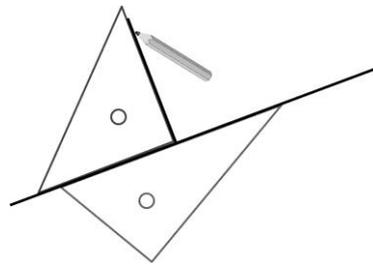
正方形, 長方形, 平行四辺形, 台形, ひし形

<解説>

① (1)



(2)



ステップ P 2 7

<解答>

① ㉞ 145° ㉟ 35° ㊱ 35°

②

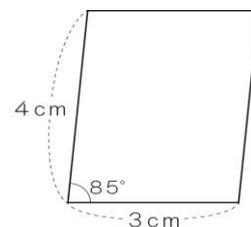
	正方形	長方形	平行四辺形	台形	ひし形
①	○	○	○		○
②	○				○
③	○	○			
④	○	○			
⑤	○				○

③ (1) 3 (2) 130 (3) 50

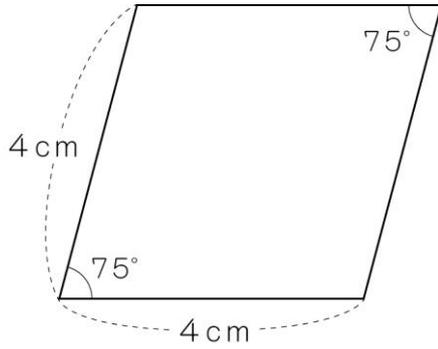
ジャンプ P 2 8

<解答>

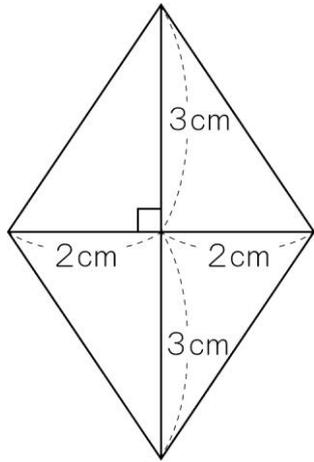
1. (1)



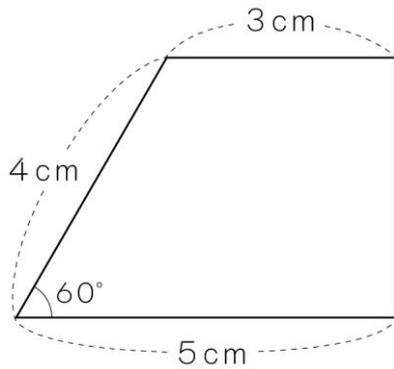
(2)



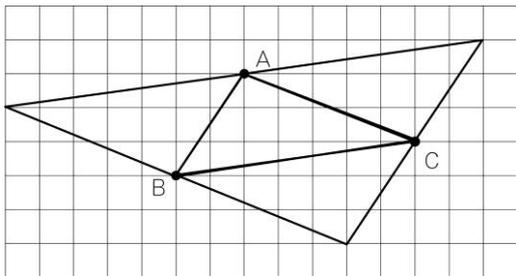
(3)



(4)

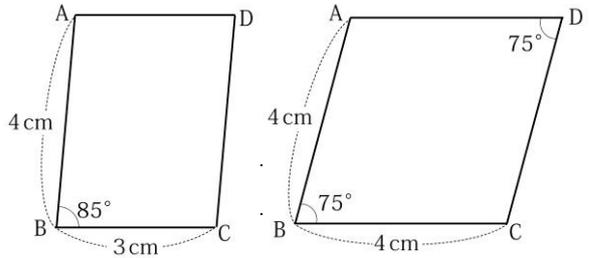


2.

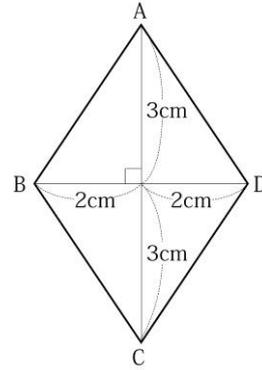


<解説>

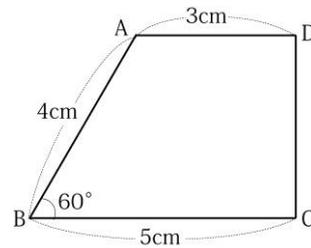
1. (1), (2) はじめに辺 BC, AB をかき, 次に辺 BC に平行な辺 AD, 辺 AB に平行な辺 CD をかく。



(3) はじめに AC, BD をかいてから 4 つの辺をかき。



(4) はじめに辺 BC, AB をかき, 次に辺 BC に平行な辺 AD をかく。それから辺 CD をかく。



2. 頂点 A, B, C のそれぞれ向かい合う頂点を考えます。

8 式と計算

スタート P 29

<解答>

例題 4, 25, 100, 6700, 100, 1, 800,

8, 792

ホップ P 3 0

<解答>

- ① (1) 8 (2) 54
 ② (1) 4 4
 (2) 8 4 2
 (3) 100 9
 5 9
 ③ (1) 740 (2) 1000 (3) 9 (4) 17
 (5) 2

ステップ P 3 1

<解答>

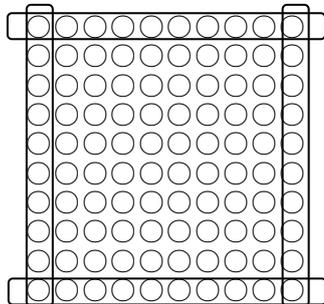
- ① (1) 4 (2) 65 (3) 1050
 (4) 24
 ② (1) 94000 (2) 594
 ③ (1) $500 - (140 + 100) = 260$
 (2) $120 + (480 \div 2) = 360$
 $(120 + 480 \div 2 = 360)$

ジャンプ P 3 2

<解答>

1. (1) \times (2) $-$ (3) \div
 (4) $+$
 2. (1) 10, 4, 36, 4, 4, 36
 (2) ① 10, 1, 21
 ② 11, 1, 21

あきこさんの考え方



9 面積

スタート P 3 3

<解答>

例題 8, 9, 72, 72 (cm²)

ホップ P 3 4

<解答>

- ① (1) 7 cm² (2) 4 cm² (3) 4 cm²
 ② (1) 1350 cm² (2) 450 m² (3) 9 ha
 ③ (1) 10000 (2) 1000000
 (3) 100 (4) 100

<解説>

- ② (1) $30 \times 45 = 1350$
 (2) $25 \times 18 = 450$
 (3) $50 \times 20 = 1000$
 (4) $0.3 \times 0.3 = 0.09$ 0.09 km²
 1 km² は 100 ha だから 0.09 km² は
 9 ha
 ③ $1 \text{ m}^2 = 100 \text{ cm} \times 100 \text{ cm} = 10000 \text{ cm}^2$
 $1 \text{ km}^2 = 1000 \text{ m} \times 1000 \text{ m}$
 $= 1000000 \text{ m}^2$
 $1 \text{ a} = 10 \text{ m} \times 10 \text{ m} = 100 \text{ m}^2$
 $1 \text{ ha} = 100 \text{ m} \times 100 \text{ m} = 10000 \text{ m}^2$

ステップ P 3 5

<解答>

- ① (1) cm², m² (2) 10000
 (3) km², 1000000
 ② (1) 48 (2) 49 (3) 800
 (4) 54
 ③ (1) 38 cm² (2) 500 cm²

<解説>

- ② (1) $6 \times 8 = 48$
 (2) $7 \times 7 = 49$
 (3) $20 \times 40 = 800$
 (4) $6 \times 9 = 54$
 ③ 2つの長方形に分けてそれぞれの面積をもとめます。
 (1) $2 \times 3 = 6$ $4 \times 8 = 32$
 $6 + 32 = 38$
 (2) $10 \times 35 = 350$ $10 \times 15 = 150$

$$350 + 150 = 500$$

ジャンプ P 3 6

<解答>

1. (1) 250cm^2 (2) 725cm^2
2. 114m^2
3. 136cm^2

<解説>

1. (1) $15 \times 20 = 300$ $5 \times 10 = 50$
 $300 - 50 = 250$

(2) たて 25cm , 横 35cm の長方形の面積から、たて 10cm , 横 15cm の長方形の面積をひきます。

$$25 \times 35 = 875 \quad 10 \times 15 = 150$$

$$875 - 150 = 725$$

2. $11 \times 14 = 154$ 答え 154m^2

池のまわりに 3m のしばふが植えられているので、たての長さに 6m をたし、横の長さに 6m をたして計算する。

3. たての1辺と横の1辺を合わせた長さは、 $50 \div 2 = 25$

たての長さは 8cm ですから、横の長さは 17cm です。

$$8 \times 17 = 136 \quad \text{面積は } 136\text{cm}^2$$

10 整理のしかた

スタート P 3 7

<解答>

例題 4, 3

ホップ P 3 8

<解答>

- ① (1) 1(人) (2) 3(人)
(3) 校庭ですりきずをした人
(4) ア 11 イ 7 ウ 8 エ 23
(5) すりきず (6) 体育館
(7) 23(人)

ステップ P 3 9

<解答>

① (1) 8(まい) (2) 23(まい) (3) 44(まい)

② (1) 12(人) (2) 3(人) (3) 6(人)

(4) 12

<解説>

① (3) $18 + 8 + 5 + 13 = 44$

② (4) $3 + 9 + 6 = 18$ $30 - 18 = 12$

ジャンプ P 4 0

<解答>

1. ア 3 イ 4 ウ 4

2. (1) 16(人) (2) 8(人) (3) 9(人)

(4) 33(人)

<解説>

1. $5 + \text{ア} = 8$ アは $8 - 5 = 3$

$5 + \text{イ} = 9$ イは $9 - 5 = 4$

2. (1) $12 + 4 = 16$

(4) $12 + 4 + 8 + 9 = 33$

11 小数のしくみとたし算、ひき算

スタート P 4 1

<解答>

例題 25, 0.025

ホップ P 4 2

<解答>

① (1) 4, 5, 1, 9 (2) 1, 8, 2

② (1) 2.6(L) (2) 3.45(L)

③ (1) 9.59 (2) 8.41 (3) 1.4

(4) 4.53 (5) 2.77

(6) 0.445

ステップ P 4 3

<解答>

① (1) 8 (2) 56 (3) 136

(4) 1060

② (1) 7 (2) 0.009 (3) 4709

③ (1) 6.24m (2) 4.028kg

(3) 0.055km (4) 3.4L

④ (1) 0.01

- (2) ① 2.91 ② 2.98 ③ 3.05
④ 3.13

ジャンプ P4 4

<解答>

1. (1) 8.7 (2) 0.93 (3) 0.901
2. (1) 8.83 (2) 5.63
3. 3 5
4. 一番大きい数 : 85.420
一番小さい数 : 20.458

12 変わり方、くらべ方

スタート P4 5

<解答>

例題 450, 540, 630, 90, ○

ホップ P4 6

<解答>

- ① (1) 表は (5), 4, 3, 2, (1)
(2) $\square + \bigcirc = 6$
② (1) 表は, 84, 168, 252, 336, 420,
504, 588
(2) 84円ずつふえる
(3) 840円 (4) $84 \times \square = \bigcirc$

ステップ P4 7

<解答>

- ① (1) 表は, 3, 6, 9, 12, 15
(2) 3cmずつふえる (3) 3(倍)
(4) $\square \times 3 = \bigcirc$
② (1) 表は, 40, 80, 120, 160, 200,
240, 280
(2) $40 \times \square = \bigcirc$

ジャンプ P4 8

<解答>

1. (1) 5, 10, 15, 20, 25
(2) $5 \times \square = \bigcirc$
2. (1) 12, 16, 20
(2) 4こずつふえていく
(3) 7こ

説明 正方形にならぶご石の数は,
(1辺のご石の数-1)の4倍です。

$$24 \div 4 = 6 \quad 6 + 1 = 7$$

13 そろばん

スタート P4 9

<解答>

例題 4, 0.7, 3, 0.6

ホップ P5 0

<解答>

- ① (1) 7392036 (2) 6850184
(3) 390012 (4) 8373588270
(5) 6370973828 (6) 2.6
(7) 46.5 (8) 80.7 (9) 28.9
② (1) 4.9 (2) 6.6 (3) 3.4
(4) 1.5

ステップ P5 1

<解答>

- ① (1) 3.9 (2) 8.8 (3) 9.7
(4) 10.6 (5) 15.4 (6) 13.3
(7) 14.3 (8) 11.4 (9) 14.6
(10) 1.1 (11) 5 (12) 2.1
(13) 5.4 (14) 3.4 (15) 0.5
(16) 3.1 (17) 2.8 (18) 6.3
(19) 0.7 (20) 8.3

ジャンプ P5 2

<解答>

1. (1) 9.9 (2) 9.4 (3) 8.6
(4) 11.7 (5) 18.3 (6) 5.7
(7) 12.9 (8) 10.8 (9) 15.6
(10) 4.4 (11) 4.1 (12) 2
(13) 0.6 (14) 2.4 (15) 4.6
(16) 5.5 (17) 1 (18) 5.6
(19) 3.2 (20) 1.7

14 小数と整数のかけ算、わり算

スタート P 5 3

<解答>

例題 1500, 600, 2.5, 2.5(倍)

ホップ P 5 4

<解答>

- ① (1) 1.8 (2) 2.8 (3) 3.5
 (4) 2.4 (5) 0.6 (6) 1.4
 (7) 3.6 (8) 21 (9) 3.1
- ② (1) 32.4 (2) 957.6 (3) 111.3
 (4) 1.9 (5) 1.42 (6) 0.7
- ③ 式 $6 \div 4 = 1.5$ 答え 1.5(倍)

ステップ P 5 5

<解答>

- ① (1) 174.5 (2) 4288 (3) 29.1
- ② (1) 18あまり3.5
 (2) 3あまり7.9
 (3) 3あまり3.8
- ③ 3 5

ジャンプ P 5 6

<解答>

1. (1) 351 (2) 49.5
 (3) 356.04
2. (1) 5.9 (2) 3.1 (3) 2.9
3. 式 $1.8 \times 32 = 57.6$ 答え 57.6L
4. 式 $8.3 \div 6 = 1.38\cdots$
 答え 約1.4kg
5. 式 $1960 \div 560 = 3.5$ 答え 3.5(倍)

15 立体

スタート P 5 7

<解答>

例題 AE, CG, DH(順不同) 4

ホップ P 5 8

<解答>

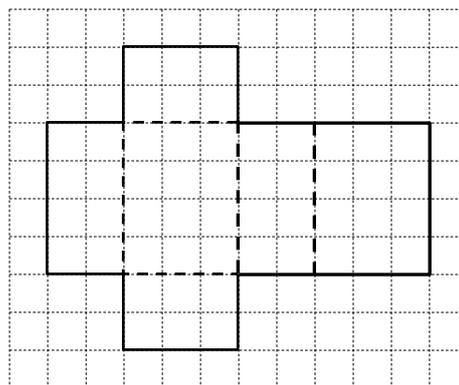
- ① (1) ア, ス (2) (辺)オエ
- ② (1) (面)う
 (2) 面(あ), 面(か), 面(い), 面(え)
 (3) 辺BC, 辺EH, 辺FG

ステップ P 5 9

<解答>

- ① (1) 立方体 (2) 直方体 (3) 平面
 (4) 6, 12, 8

②

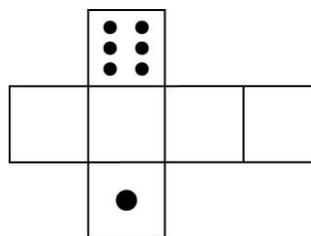


ジャンプ P 6 0

<解答>

1. (1) 辺AD, 辺BC, 辺AE, 辺BF
 (2) 面ABCD, 面EFGH
 (3) C...5, 3, 4 D...0, 3, 4
 G...5, 3, 0

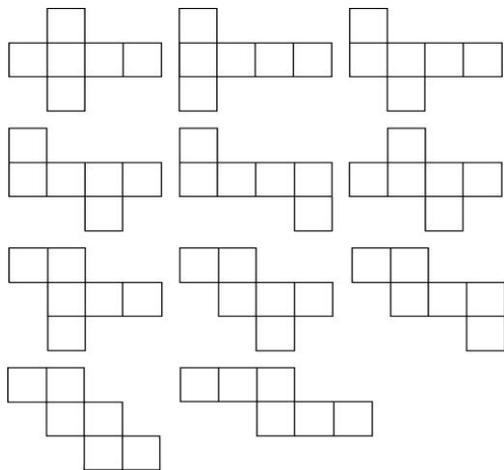
2. 左の図...ア 右の図...イ



<解説>

2. 立方体の展開図には下のようものがあります。回転させたり、うら返したりしてぴったり重なるものは同じ展開図と考えます。

1の目と6の目は、組み立てたときにちょうど反対側になるようにかきます。



16 分数の大きさとなし算、ひき算

スタート P6 1

<解答>

例題 $\frac{11}{4}$, <

ホップ P6 2

<解答>

① (1) $1\frac{1}{2}$ (2) $1\frac{3}{4}$ (3) 3

(4) $4\frac{2}{7}$

② (1) $\frac{5}{3}$ (2) $\frac{22}{7}$ (3) $\frac{13}{5}$ (4) $\frac{17}{4}$

③ (1) > (2) < (3) >

④ (1) $\frac{6}{5}$ (2) $\frac{13}{4}$ (3) 2

(4) $4\frac{2}{7}$ (5) $5\frac{2}{9}$ (6) $\frac{1}{6}$

(7) $\frac{6}{7}$ (8) $2\frac{4}{5}$ (9) 4

⑤ ア $\frac{2}{5}$ イ $\frac{7}{5}$ ウ $\frac{12}{5}$

エ $\frac{14}{5}$

ステップ P6 3

<解答>

① 上からじゅんに

$\frac{1}{2}$

$\frac{1}{3}$ $\frac{2}{3}$

$\frac{1}{4}$ $\frac{2}{4}$ $\frac{3}{4}$

$\frac{1}{5}$ $\frac{2}{5}$ $\frac{3}{5}$ $\frac{4}{5}$

$\frac{1}{6}$ $\frac{2}{6}$ $\frac{3}{6}$ $\frac{4}{6}$ $\frac{5}{6}$

$\frac{1}{7}$ $\frac{2}{7}$ $\frac{3}{7}$ $\frac{4}{7}$ $\frac{5}{7}$ $\frac{6}{7}$

$\frac{1}{8}$ $\frac{2}{8}$ $\frac{3}{8}$ $\frac{4}{8}$ $\frac{5}{8}$ $\frac{6}{8}$ $\frac{7}{8}$

$\frac{1}{9}$ $\frac{2}{9}$ $\frac{3}{9}$ $\frac{4}{9}$ $\frac{5}{9}$ $\frac{6}{9}$ $\frac{7}{9}$ $\frac{8}{9}$

$\frac{1}{10}$ $\frac{2}{10}$ $\frac{3}{10}$ $\frac{4}{10}$ $\frac{5}{10}$ $\frac{6}{10}$ $\frac{7}{10}$ $\frac{8}{10}$ $\frac{9}{10}$

(1) 3 (2) 1 (3) 9 (4) 8

(5) 10 (6) 7 (7) 5 (8) 3

ジャンプ P6 4

<解答>

1. (1) $\frac{11}{4}$ ($2\frac{3}{4}$) (2) $\frac{15}{6}$ ($2\frac{3}{6}$)

(3) 3

(4) $4\frac{1}{9}$ (5) $3\frac{5}{6}$ (6) $5\frac{5}{7}$

(7) $\frac{3}{7}$ (8) $3\frac{1}{4}$ (9) $2\frac{5}{8}$

(10) $3\frac{6}{7}$ (11) $1\frac{5}{8}$ (12) $\frac{3}{5}$

2. 式 $1\frac{2}{5} + \frac{4}{5} = 2\frac{1}{5}$ $2\frac{1}{5}$ L

3. 式 $3\frac{7}{10} - 1\frac{8}{10} = 1\frac{9}{10}$ $1\frac{9}{10}$ m

BEYOND COVID-19

あ
だ
ち
か
ら

ふみだそう。新たな一歩を。

令和3年4月発行 足立区学習教材「次へのステップ」

発行 足立区教育委員会

編集 足立区教育委員会事務局 教育指導部 学力定着推進課

電話03-3880-6717